

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第12週 > 伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-12

< インフルエンザ > 第12週の定点当たり報告数は32.5となり、前週の報告数と比べてほぼ横ばいである
< 麻しん > 関東南部地域(埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県)や愛知県における麻しんの発生は現在に至るまで継続している



病原体情報
P.13-16

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン / 感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン



速報
P.17-19

コレラ 2006年(2007年3月29日現在)



海外感染症情報
P.20-21

中国での鳥インフルエンザ流行状況 / エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況



感染症の話
P.22

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(12週)
P.23-29



12週のデータ
P.30-41



発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

< 第12週コメント > 3月29日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 細菌性赤痢 9例

(感染地域: 千葉県1例、インド2例、エジプト2例、タイ1例、マレーシア1例、ペルー/ブラジル1例 . 疑似症1例)

腸チフス 1例(感染地域: インド)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 4例(うち有症者3例、HUS 1例を含む)

感染地域: 愛知県2例、千葉県1例、福岡県1例

年齢群: 10歳未満(2例)、20代(1例)、30代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(3例)、O157 VT2(1例)

4類感染症: E型肝炎 2例(感染地域: とともに静岡県 . 感染源: とともに猪レバーの生食)

デング熱 1例(感染地域: ポリビア)

マラリア 2例

(三日熱1例__感染地域: インドネシア、熱帯熱1例__感染地域: ガーナ)

レジオネラ症 8例(肺炎型7例、ポンティアック型1例)

年齢群: 20代1例、50代1例、60代3例、70代3例

感染地域: 岐阜県2例、山形県1例、静岡県1例、愛知県1例、熊本県1例
(温泉)、鹿児島県1例、国内(都道府県不明)1例

5類感染症: アメーバ赤痢 9例

(腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ2例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 国内8例、インドネシア1例

感染経路: 経口2例、性的接触3例(異性間1例、同性間1例、異性間・同性間不明1例)、不明4例

ウイルス性肝炎 1例(B型__感染経路: カミソリの共用)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(40代 . 血清群: A群)

後天性免疫不全症候群 11例(無症候9例、AIDS 1例、その他1例)

感染地域: 国内9例、タイ1例、国内・国外不明1例

感染経路: 性的接触10例(異性間4例、同性間6例)、不明1例

髄膜炎菌性髄膜炎 1例(感染地域: 宮崎県、血清群: 不明)

梅毒 6例(早期顕症I期1例、早期顕症II期3例、無症候2例)

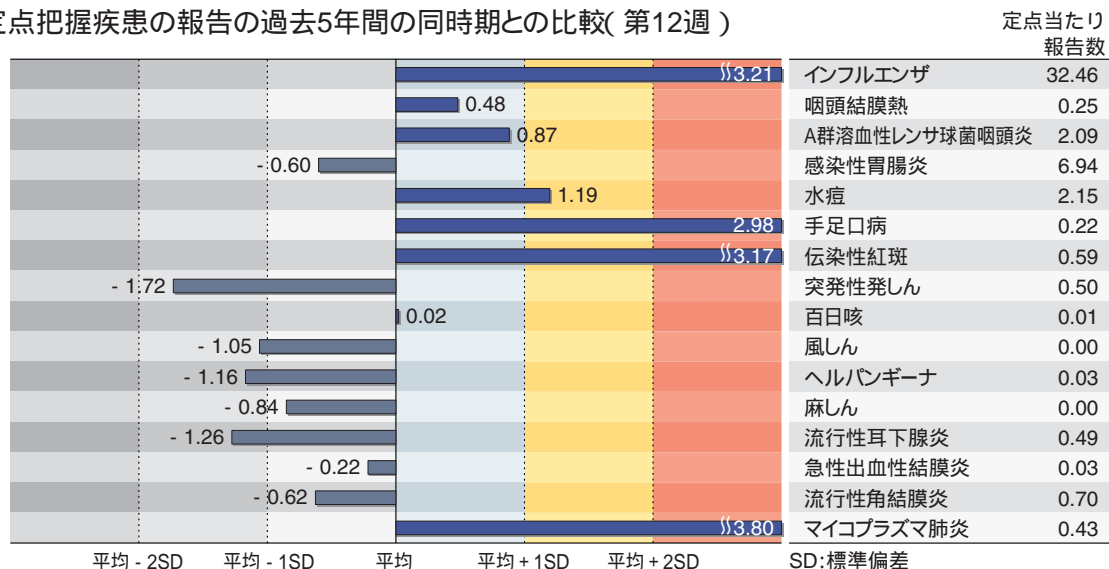
破傷風 1例(60代)

(補)他に報告遅れとして、オウム病1例(感染地域: 神奈川県 . 感染源: 野鳥)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例(0歳1例、50代1例、70代1例 . 血清群: A群2例、C群1例)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第12週)



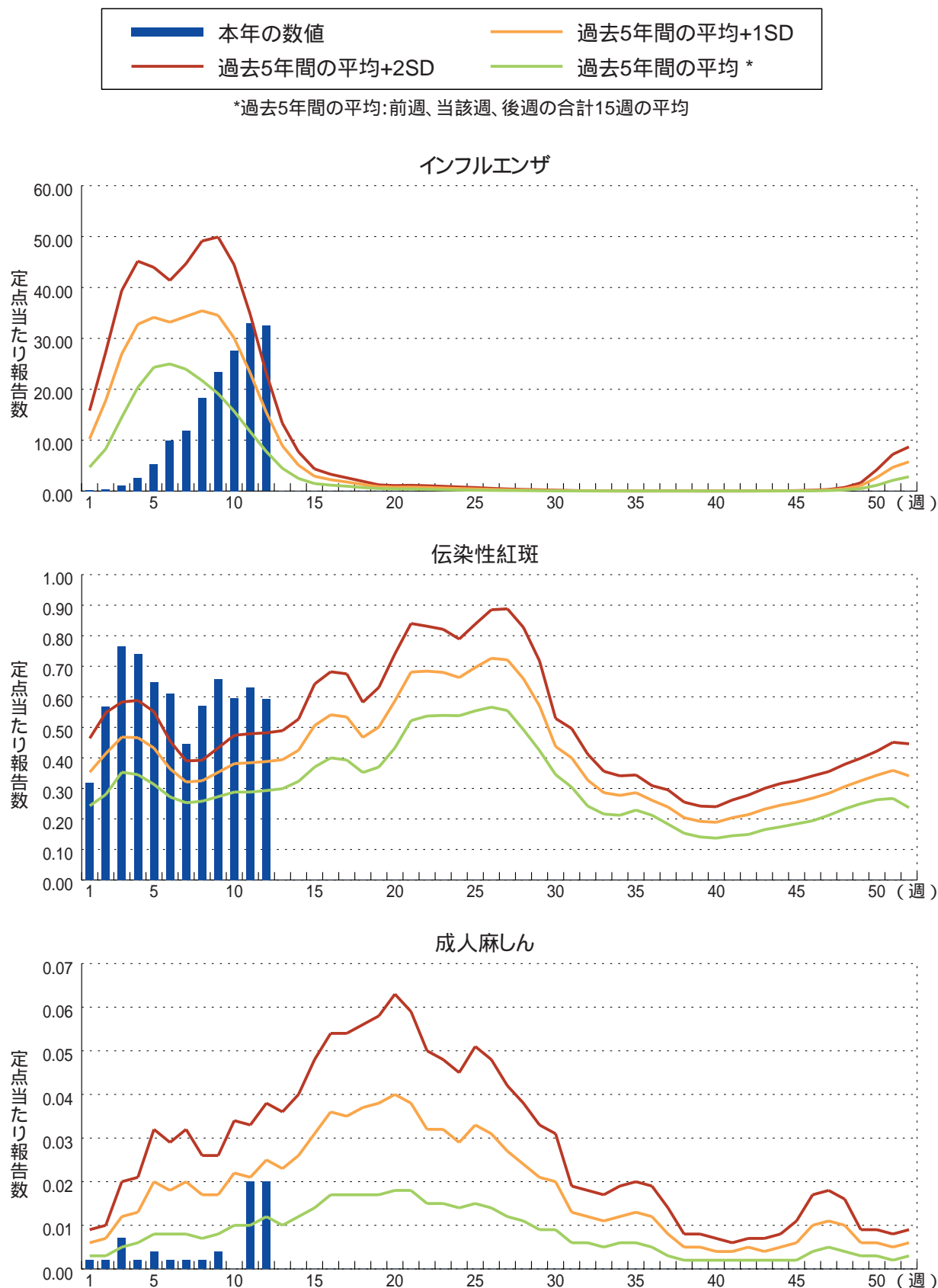
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ: 定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では大分県(58.0)、長崎県(53.7)、新潟県(52.5)、山口県(52.2)、宮崎県(51.8)、沖縄県(50.8)、青森県(49.7)、佐賀県(48.5)が多い。

小児科定点報告疾患: RSウイルス感染症は357例の報告があり、第5週以降報告数は減少が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第9週以降減少が続いている。都道府県別では富山県(1.21)、山形県(0.87)、島根県(0.70)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県(7.5)、北海道(4.3)、鳥取県(3.8)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(16.3)、愛媛県(13.7)、福井県(13.1)、福岡県(11.6)が多い。水痘の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では沖縄県(6.4)、宮崎県(5.4)、鹿児島県(4.3)、愛媛県(4.0)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では宮崎県(2.1)、佐賀県(1.5)、熊本県(1.3)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では富山県(2.8)、石川県(1.9)、北海道(1.6)、長野県(1.4)が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では栃木県(0.06)、千葉県(0.05)、長野県(0.05)が多い。風しんの報告数は微減した。都道府県別では神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県から各2例、北海道、岩手県、山梨県、岡山県から各1例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山口県(0.33)、長崎県(0.23)が多い。麻しんの報告数は減少した。都道府県別では東京都4例、茨城県、兵庫県から各1例の報告があった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では青森県(1.9)、秋田県(1.6)、新潟県(1.6)が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.9)、群馬県(1.8)、大阪府(1.3)が多い。成人麻しんは9例の報告であり、東京都から3例、宮城県、埼玉県から各2例、神奈川県、大阪府から各1例の報告があった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1 ~ 12週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする主に上気道に感染する感染症であるが、「一般のかぜ症候群」とは分けて考えるべき「重くなりやすい疾患」である。推計では日本国内において2004/05シーズンは約1,770万人(IASR 26: 287-288, 2005参照)が、2005/06シーズンでは約1,116万人(IASR 27: 293-294, 2006参照)がインフルエンザに罹患しており、世界的にみても先進国・発展途上国を問わず未だに人類に残されている最大級の疫病であるといっても過言ではない。急激に発症する38 以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などに加えて、咽頭痛、鼻汁、咳などの症状もみられることが一般的であり、特に高齢者や、年齢を問わず呼吸器、循環器、腎臓に慢性疾患を持つ患者、糖尿病などの代謝性疾患、免疫機能が低下している患者では、原疾患の増悪とともに、呼吸器に二次的な細菌感染症を起こしやすくなることが知られており、重症化や時には生命の危機を招くこともある。また、小児では中耳炎の合併、熱性痙攣や気管支喘息の誘発、更に頻度は低いもののインフルエンザ脳症を合併する場合がある。

感染症発生動向調査によると、2007年第12週現在の全国約5,000カ所のインフルエンザ定点医療機関からの定点当たり報告数は32.5(報告数155,045)となり、第2週以降継続していた報告数の増加は止まったものの、前週の報告数(定点当たり報告数32.9)と比べてほぼ横ばいである(図1)。都道府県別では、大分県(58.0)、長崎県(53.7)、新潟県(52.5)、山口県(52.2)、宮崎県(51.8)、沖縄県(50.8)、青森県(49.7)、佐賀県(48.5)の順となっている(図2)。

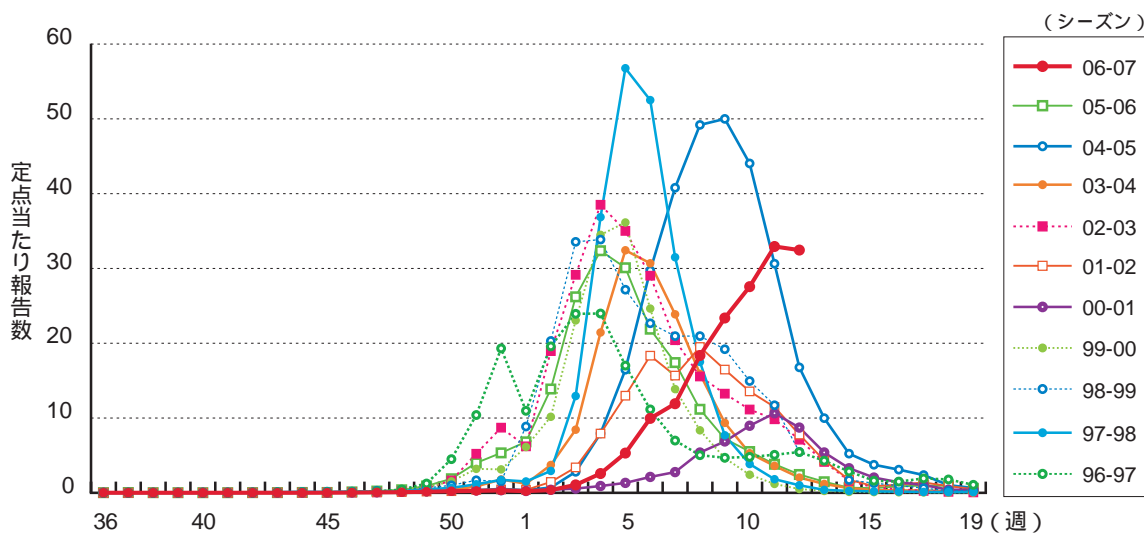


図1. インフルエンザのシーズン別・週別発生状況(1996年第36週～2007年第12週)

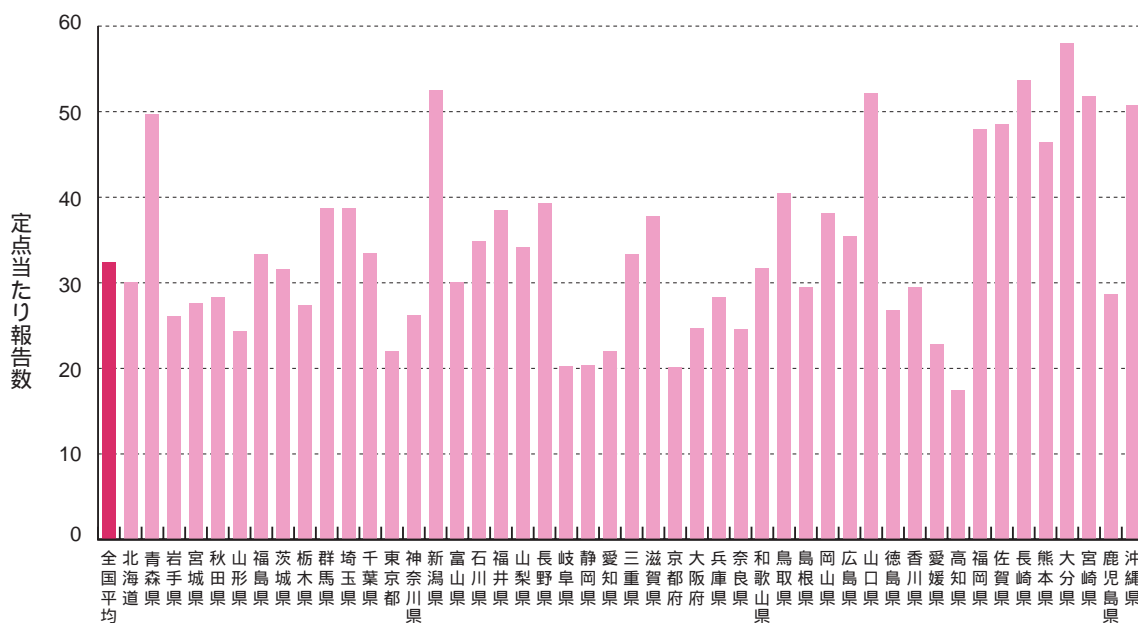


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(2007年第12週)

2006年第36週以降これまでの定点医療機関からの定点当たり累積報告数は170.6(総患者累積報告数800,291)であり、都道府県別では福岡県(288.6)、宮崎県(277.3)、大分県(262.3)、愛知県(241.9)、三重県(237.2)、沖縄県(232.0)、新潟県(224.6)、福井県(216.4)の順であり、九州地域と中部地域において今シーズンの流行の影響が大きいことがわかる(図3)。また、累積報告の年齢別では5～9歳が33.0%と最多であり、次いで10～14歳(22.8%)、0～4歳(19.5%)の順である(図4)。

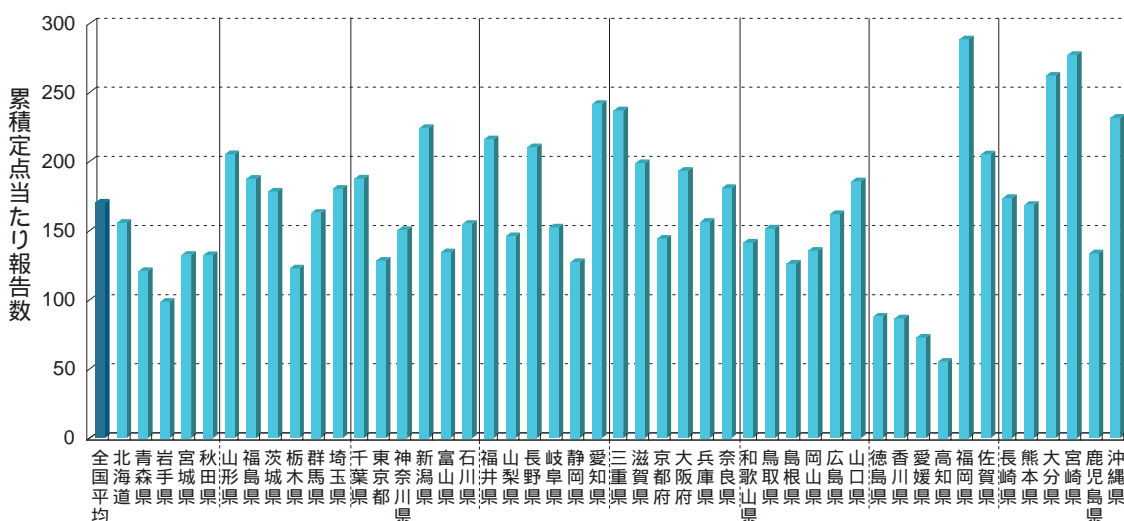


図3. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザの都道府県別報告状況 (2006年第36週 ~ 2007年第12週)

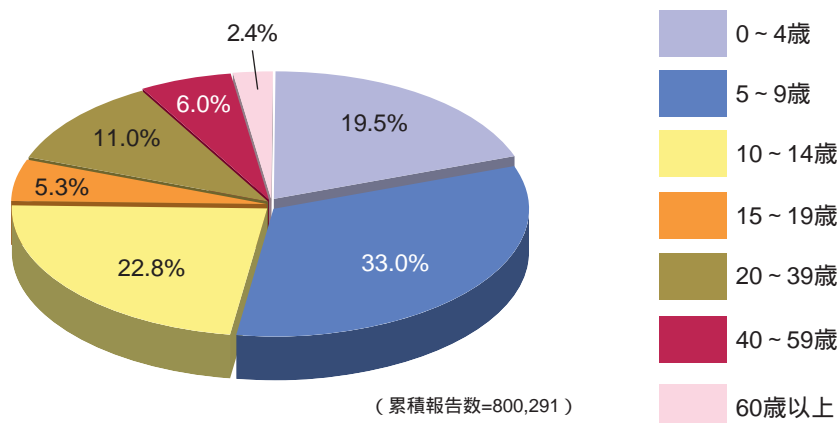


図4. インフルエンザの報告症例の年齢別割合(2006年第36週 ~ 2007年第12週)

第36週以降これまでに全国の衛生研究所から報告されたインフルエンザウイルス分離報告 (総報告数2,507) では、AH1亜型(Aソ連型) 8.2%(報告数205例)、AH3亜型(A香港型) 51.9%(1,300例)、B型40.0%(1,002例) であり、AH3亜型の分離報告が最多であるが、B型の報告割合が増加しつつある(図5、図6)。

今シーズンインフルエンザの流行は1月中旬(2007年第3週) より開始した後継続的に増加し、定点当たり報告数は第11週32.9、第12週32.5と高い値となった。同時期の定点当たり報告数と比較すると、過去10シーズンを上回る最高値である。インフルエンザの発生動向には今後とも注意が必要である。

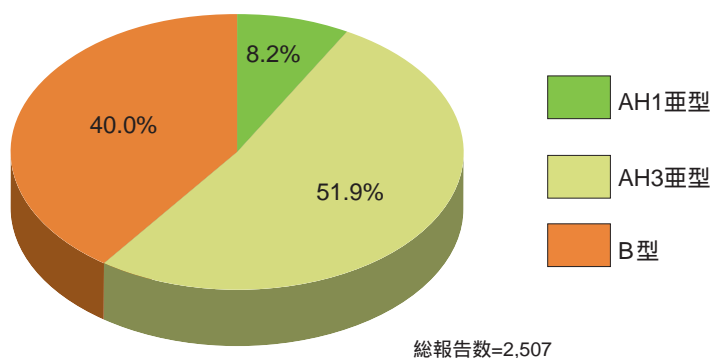


図5. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザウイルスの分離状況 (2006年第36週 ~ 2007年第12週)

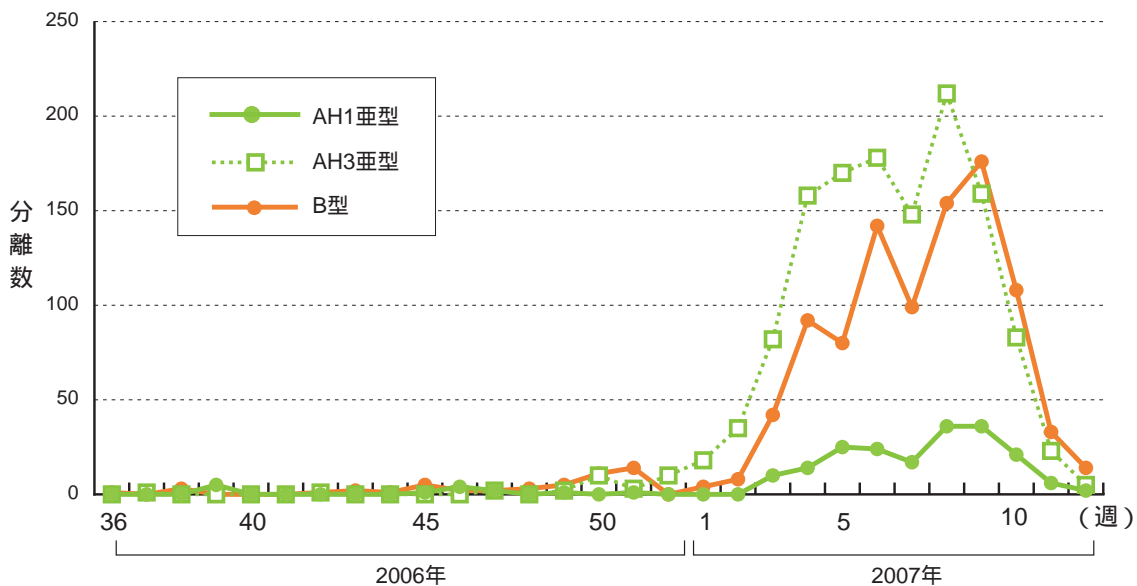


図6. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザウイルス分離の週別推移
(2006年第36週 ~ 2007年第12週)

麻疹

麻疹は空気感染(飛沫核感染)、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示す疾患であり、その感染力は極めて強い。麻疹に対して免疫を持たない者が感染した場合は、10日間前後の潜伏期を経て発症し、カタル期(2~4日間)、発疹期(3~5日間)、回復期へと続いていく。特異的な治療法は存在しないが、先進国では栄養状態の改善や対症療法の発達等により、致死率は0.1~0.2%にまで低下している。しかし、2000年の大阪の流行時には、合併症発症率約30%、平均入院率は約40%であったことが流行後の調査で明らかとなっており、未だ重篤な疾患であることには変わりはない(感染症情報センターホームページ「麻疹の現状と今後の対策について」http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/report2002/measles_top.html#m_fig2)。また、最近では麻疹発症者数の低下に伴って、ワクチン既接種者であっても接種後年数を経たからの一次性、二次性のワクチン効果不全による麻疹の発症例も目立つようになってきており、比較的年長者の麻疹発症が散見されつつある。

感染症発生動向調査によると、2007年に入っても全国約3,000カ所の小児科定点からの麻疹の定点当たり報告数は、全国的には過去2年間と同様に低い状態が続いている(図1)。しかし、関東南部地域(埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県)や愛知県における麻疹の発生は、現在に至るまで継続しており(2006年第36週以降現在までの累積報告数は、埼玉県63、愛知県32、東京都24、千葉県15、神奈川県15の順である)、特に第10、11、12週では東京都からの報告が増加しつつある(図2、図3)。また、定点数が少なく、比較することはできないものの全国約450カ所の基幹定点からの成人麻疹の報告は急増しており、その多くが東京都を中心とした関東地域からの報告である(図4、図5)。

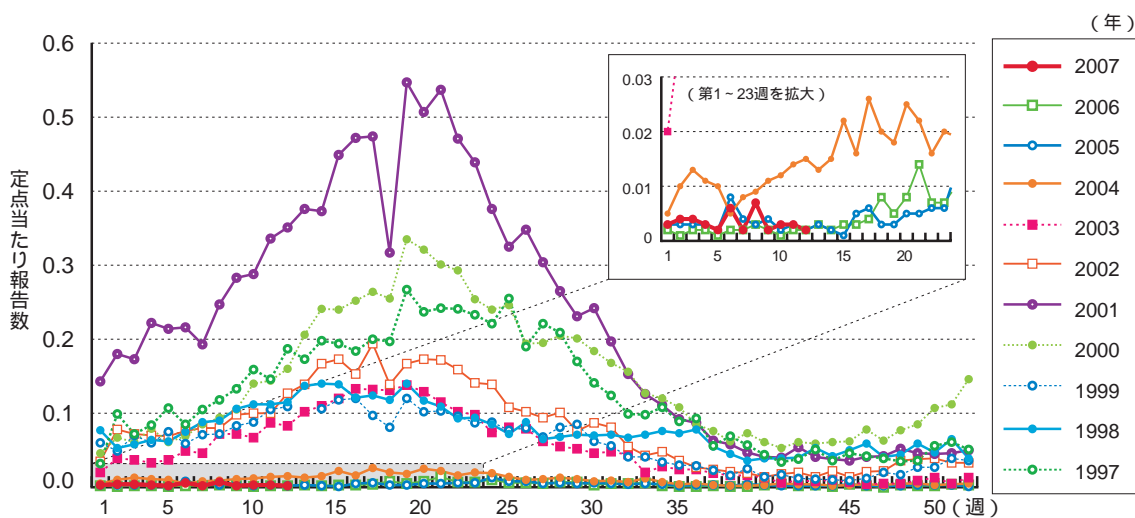


図1. 麻疹の年別・週別発生状況(1997年 ~ 2007年第12週)

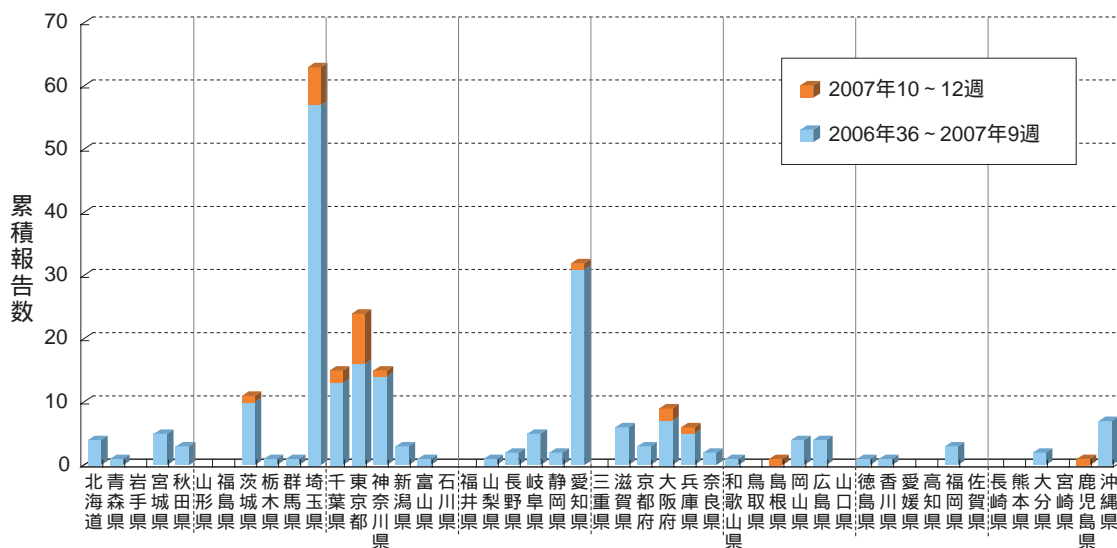


図2. 麻しんの都道府県別累積報告状況(2006年第36週～2007年第12週)

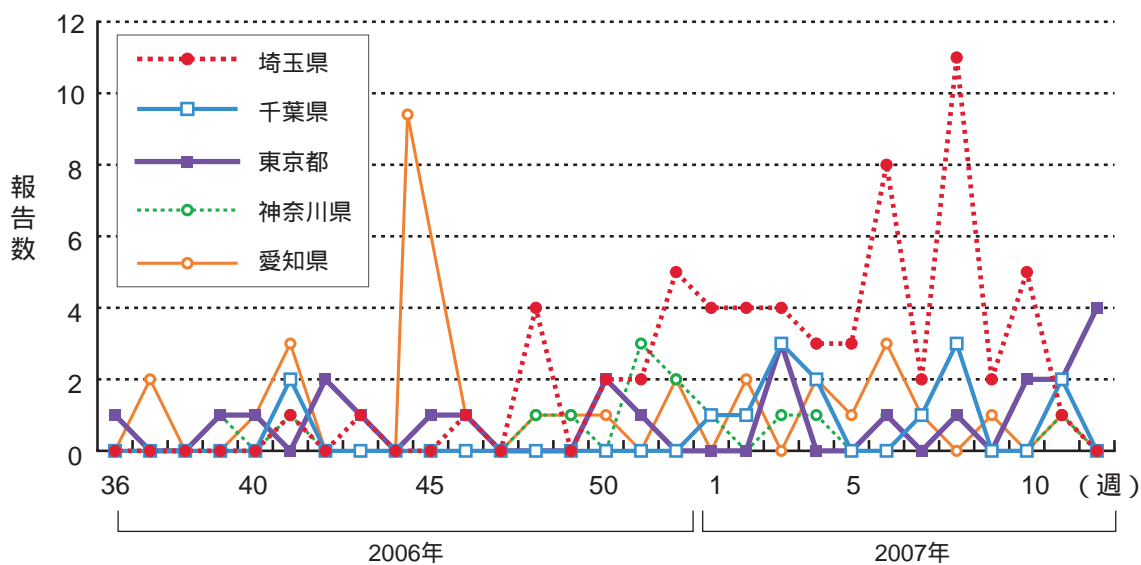


図3. 主要都道府県における麻しんの報告の週別推移(2006年第36週～2007年第12週)

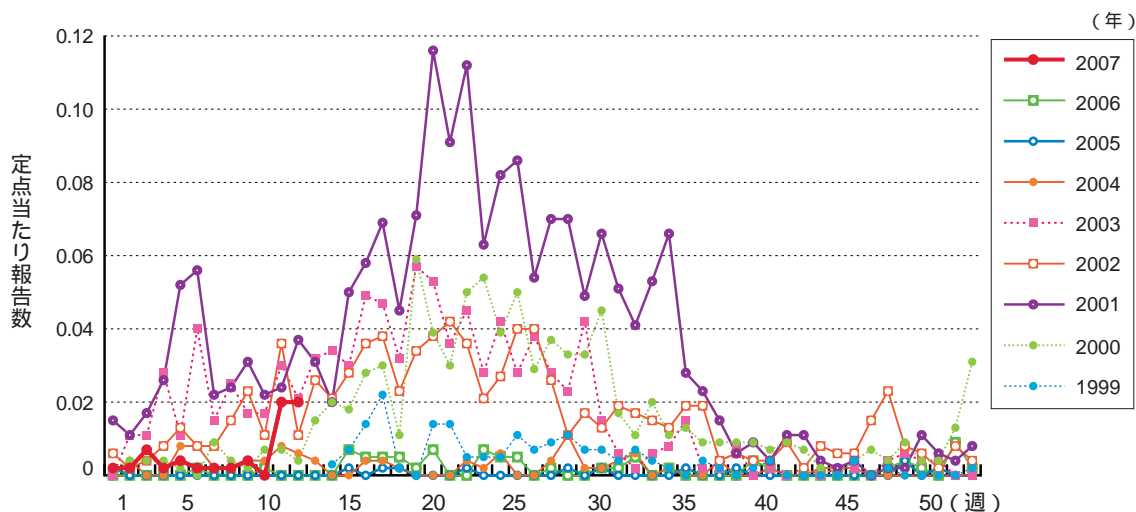


図4. 成人麻疹の年別・週別発生状況(1999年第14週～2007年第12週)

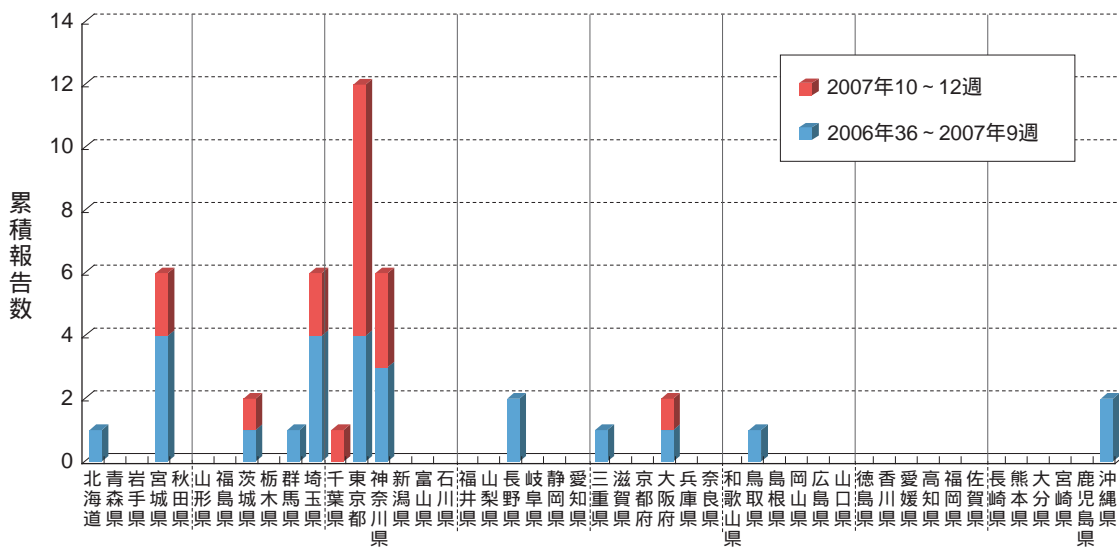


図5. 成人麻疹の都道府県別累積報告状況(2006年第36週～2007年第12週)

既に東京都や埼玉県等を中心とした南関東地域では昨年に引き続いて麻疹が流行しているが、「関東における麻疹の集団発生」<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html> \ その特徴の1つには乳幼児のみならず、中学、高校等の学校単位での流行が散見されていることがあげられる。10代以降の麻疹発生例では、麻疹と診断されるまでに広範囲に行動している例が多く、広い地域の不特定多数のヒトに麻疹ウイルスを感染させる結果となりやすい。特に4月に入ると新入学の時期となり、入学式における麻疹の集団感染や、新たな集団生活によって、麻疹の流行は更に拡大する可能性が高い。

麻疹は国内からの排除(elimination)を目標とすべき疾患であり、そのためには地域的な流行は積極的に阻止されなければならない。麻疹の流行を阻止するためには、1歳になったらすぐと学童期前の2回目接種を含めた麻疹関連ワクチンのより積極的な勧奨が必要であると共に、1例でも発生すればすぐに対応を講じる等の対策が重要である(「保育園・幼稚園・学校等での麻疹患者発生時の対応マニュアル」<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>)。麻疹発生動向に対するより注意深い観察と、麻疹発生時における迅速な対応が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2007年3月29日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

例年より遅く2007年に入ってからAH3亜型が増加し始め、第3週以降はB型も増加し、第9週以降はB型がAH3亜型の報告数を上回っている。

2006年第36週からの累計ではAH1亜型が29都道府県から205件、AH3亜型が42都道府県から1,300件、B型が43都道府県から1,002件が報告されている(PCR/抗原検出によるAH1亜型5件、AH3亜型10件、B型9件を含む)。

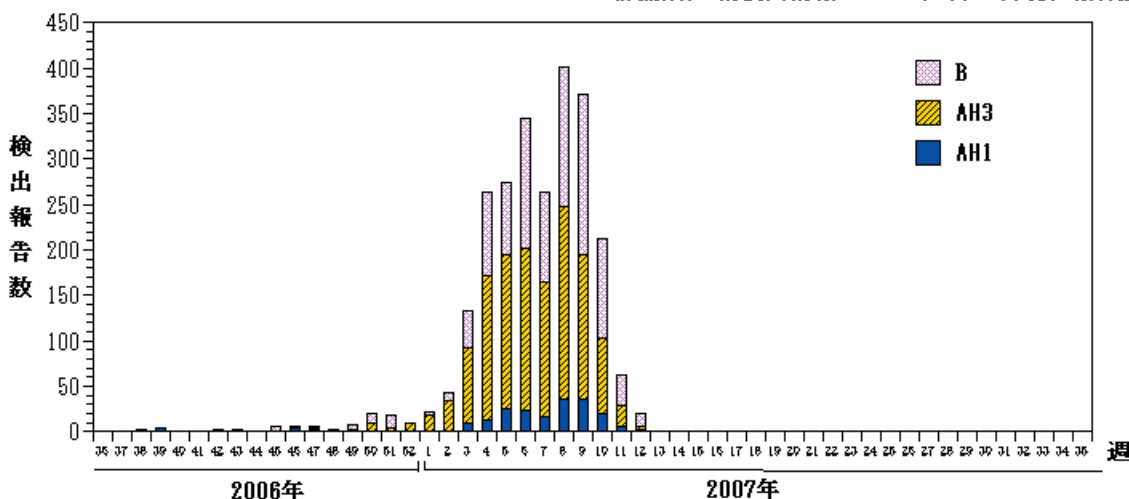
AH1亜型: 2007年第3～5週に10、14、25件と増加し、第6～12週には24、17、36、36、21、6、2件が報告されている。直近の4週間(第9～12週)では香川県9件、神奈川県、福岡県各6件、山形県、千葉県、新潟県、兵庫県、広島県各5件、宮城県、山口県、佐賀県各4件など15道県から報告されている。

AH3亜型: 第49～52週に2、10、3、10件、2007年第1～6週に18、35、82、158、170、178件と増加し、第7～12週には148、212、159、83、23、5件が報告されている。直近の4週間(第9～12週)では北海道54件、神奈川県40件、宮城県17件、新潟県16件、福岡県14件、兵庫県13件、山形県、千葉県各10件、群馬県9件、大阪府、香川県各8件など30道府県から報告されている。

B型: 第42～49週まで毎週1～5件、第50週11件、第51週14件が連続して報告された後、2007年第1～6週に4、8、42、92、80、142件と増加し、第7～12週には99、154、176、108、33、14件が報告されている。直近の4週間(第9～12週)では広島県81件、神奈川県51件、北海道45件、新潟県、大阪府、岡山県各12件、宮城県、愛媛県各10件、兵庫県9件、福井県8件など32道府県から報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2006/07シーズン

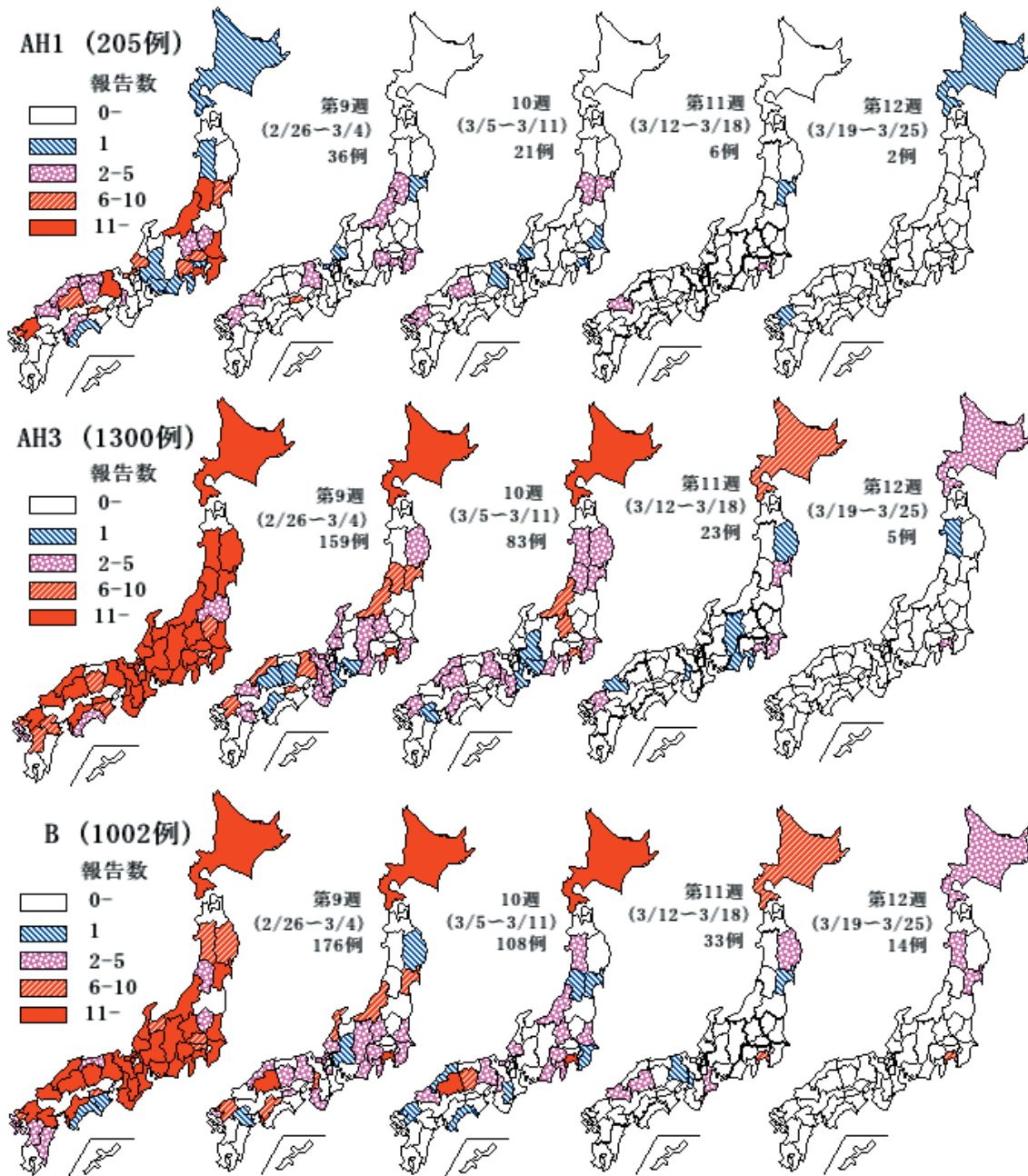
(病原微生物検出情報 : 2007年3月29日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2006/07シーズン
 (病原微生物検出情報：2007年3月29日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン

例年より早く2006年第40週よりノロウイルスgenogroup IIの報告が増加し、第36週からの累計ではノロウイルスgenogroup IIが3,024件、genogroup Iが44件、サポウイルスが59件、A群ロタウイルスが159件報告されている。

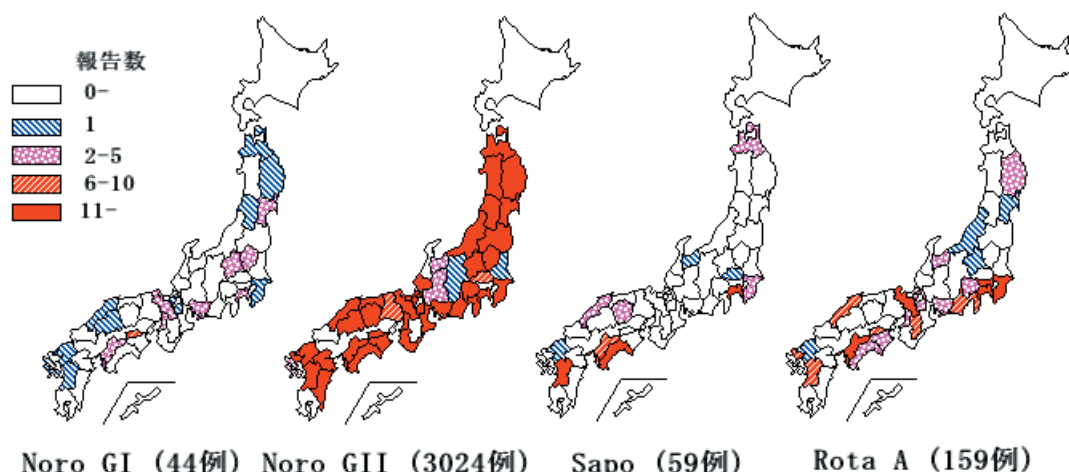
ノロウイルスgenogroup IIは大阪府412件、神奈川県286件、滋賀県268件、岩手県259件、京都府247件、愛媛県189件、広島県163件、高知県111件、岡山県100件など40府県から報告されている。genogroup Iは香川県10件、大阪府5件など19府県から、サポウイルスは高知県15件、熊本県13件、神奈川県11件、愛媛県7件など11県から報告されている。

また、ノロウイルスgenogroup IIによる施設内感染、食中毒などの集団発生の報告も増加しており、これまでに2006年9月6事例、10月64事例、11月294事例、12月221事例、2007年1月94事例、2月53事例、3月13事例、計745事例が報告されている(このうち10月、11月各1事例、12月3事例ではgenogroup IとIIを検出)。

検出されたgenogroup IIのノロウイルスについて、さらに遺伝子型別まで実施された203事例中193事例はGII/4と報告されている(他には10月にGII/9が1事例、11月にGII/2が3事例とGII/6が1事例、1月にGII/2が2事例、2月にGII/2とGII/13が各1事例、3月にGII/2が1事例)。また、10月1事例、11月2事例、12月3事例、1月2事例、2月3事例ではgenogroup Iが検出され、11月、12月各5事例、1月4事例、2月1事例のgenogroupは不明である(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html>)。

一方、A群ロタウイルスは例年同様冬季から春季に報告が増加しつつあり、東京都21件、千葉県19件、愛媛県17件、京都府15件、神奈川県12件、奈良県10件、静岡県、島根県、香川県、佐賀県各8件など23都府県から報告されている。

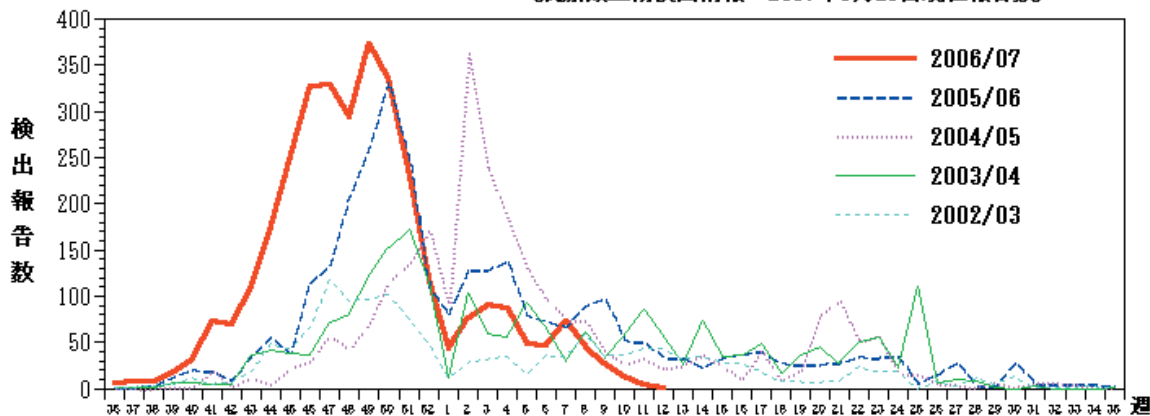
都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年3月29日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス) 検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年3月29日現在報告数)

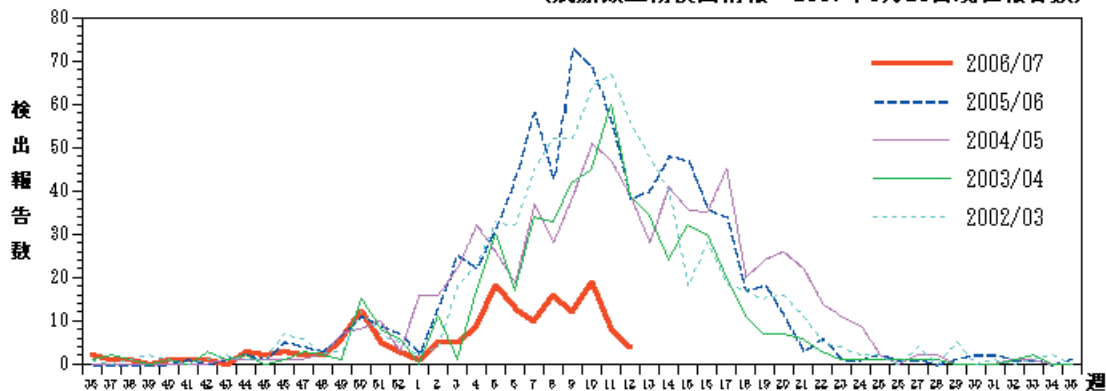


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別ロタウイルスの検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年3月29日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



コレラ 2006年(2007年3月29日現在)

コレラは1～5日(通常1日以内)の潜伏期の後に、下痢や嘔吐で急激に発症する腸管感染症である。殆どの場合、腹痛や発熱はみられない。典型的症状は激しい水様性下痢(重症例では米のとぎ汁様)と脱水であるが、近年の報告症例では軽症であることが多い。しかし、胃腸の弱い人(胃切除者など胃酸の働きが低下している人)や高齢者、乳幼児では重症化して死亡することもあり、軽視できない疾患である。

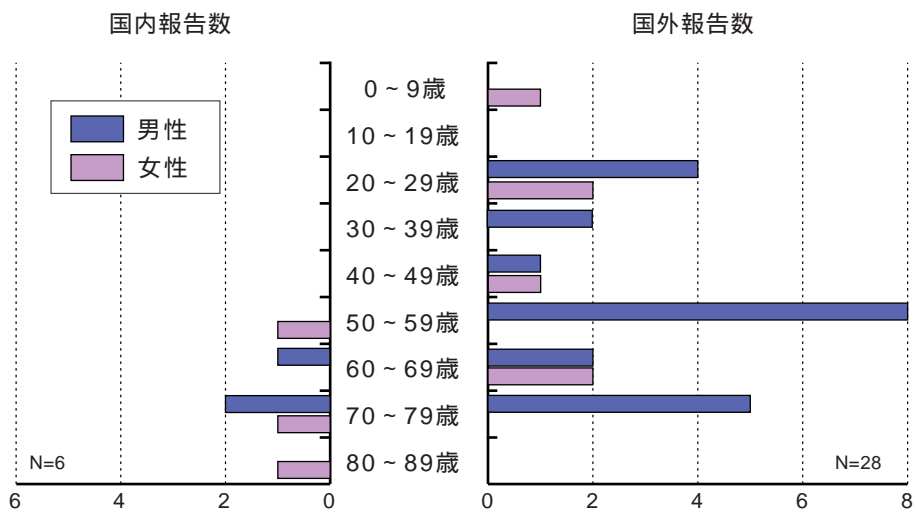
コレラは1999年4月施行の感染症法に基づく二類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の報告が、診断した全ての医師に義務づけられている。WHOの報告基準では、コレラ毒素産生性のO1血清型コレラ菌およびO139血清型コレラ菌によるものと定義されており、わが国でも同じ定義を用いている。

過去の年間累積報告数は1999年(4月～)39例、2000年58例、2001年50例、2002年51例、2003年25例、2004年86例、2005年55例で、2006年は45例であった。平均的には年間50例程度の報告である。

2006年の45例の報告では、疑似症が11例あり、無症状病原体保有者は1例あった。疑似症を除く34例では、性別は男性25例、女性9例で、年齢中央値は56歳(7～86歳)であり、推定感染地域別では国内が6例、国外が28例であった。死亡と記載された症例はなかった。

国内を推定感染地域とする6例(男性3例、女性3例)について年齢群別にみると、50代1例、60代1例、70代3例、80代1例で、年齢中央値は71.5歳であった(図1)。報告の限りにおいては、疫学的関連性があると記載された症例はなく、すべて散発例と思われた(IASR 27: 273-274, 2006参照 <http://idsc.nih.gov.jp/iasr/27/320/kj3201.html>)。発症月別にみると、1月が2例、6月が1例、9月が3例であった(図2)。国内での感染は従来7～9月に集中する傾向が認められていたが、2005年においては1月が最も多く、7～9月は1例のみであり、季節性は明らかではなくなっている。コレラ菌の型ではO1小川型5例の他、国内では初めてと考えられるO139型の報告があった(IASR 28: 86-88, 2007参照 <http://idsc.nih.gov.jp/iasr/28/325/kj3251.html>)(図3)。

国外を推定感染地域とする28例(男性22例、女性6例)について年齢群別にみると、10歳未満1例、20代6例、30代2例、40代2例、50代8例、60代4例、70代5例で、年齢中央値は54歳であった(図1)。推定感染国別では、インド12例が最も多く、ついでフィリピン10例(無症状の1例を含む)、インドネシア3例、パキスタン1例、中国またはフィリピン1例、タイまたはカンボジア、ラオス、韓国が1例であり、すべてアジア地域であった(図4)。無症状の1例を除き、推定感染国別・発症月別にみると、インドでは6月の6例が最も多いが、このうち5例は同一ツアーによる集団感染によるものであった(IASR 27: 233, 2006参照 <http://idsc.nih.gov.jp/iasr/27/319/pr319g.html>)。次いで5月に3例、2月、4月、10月に各1例の発症がみられた。フィリピンでは1～3月及び8～10月に、インドネシアでは7及び8月に発症者がみられた(図2)。28例のコレラ菌の型を推定感染国別にみると、インド(12例)では、O1稲葉型7例、O1小川型2例、O1小川型及び稲葉型が3例あった。同じ南アジアのパキスタンの1例はO1稲葉型であった。一方、フィリピン、インドネシア、中国/フィリピン、タイ/カンボジア/ラオス/台湾などの東南アジアあるいは東アジアでは、すべてO1小川型であった(図3)。O139はみられなかった。



N=34 (疑似症11例を除く)

図1. 性別・年齢群別・推定感染地域別にみたコレラの報告(2006年)

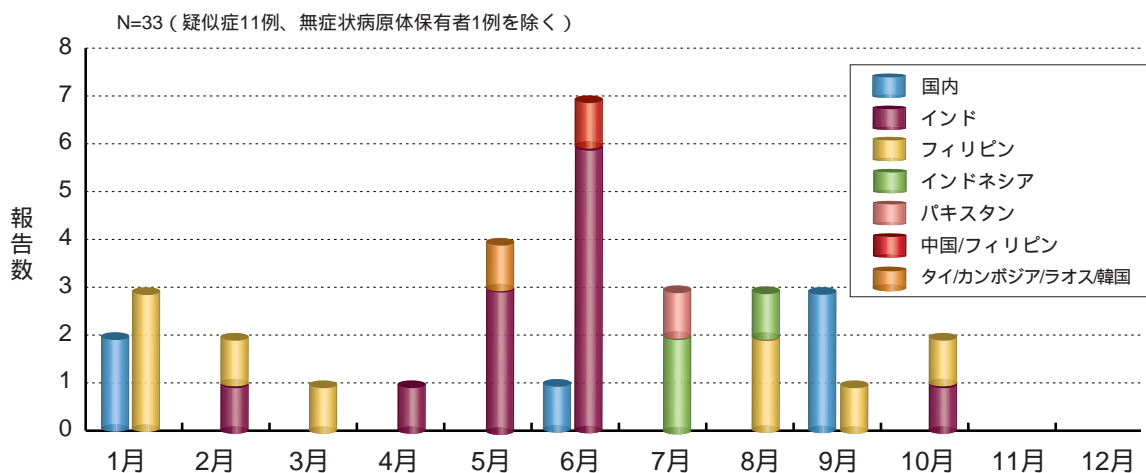


図2. 発症月別・推定感染地別にみたコレラの報告(2006年)

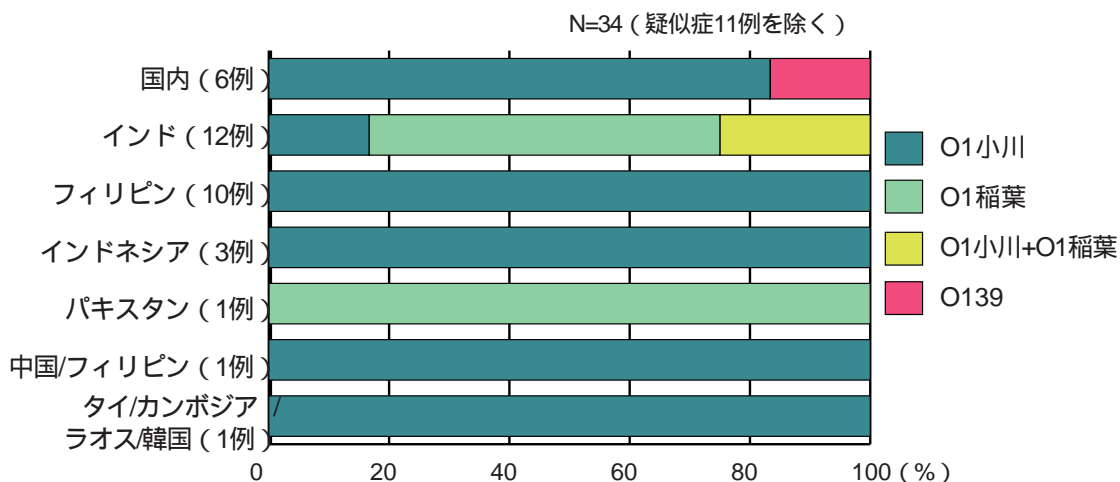


図3. 推定感染国別にみたコレラ菌の型分布(2006年)

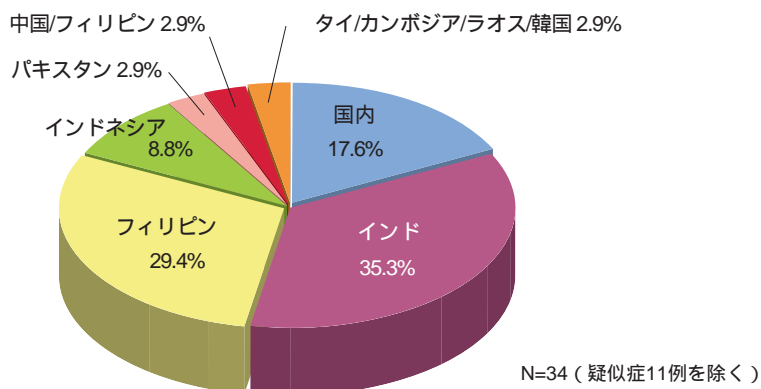


図4. コレラの推定感染国の割合(2006年)

コレラが蔓延している地域へ渡航する際には、生水、氷、生の魚介類、生野菜、カットフルーツなどの摂取を避けることが肝要であり、また、無理な旅行日程などによって体調をくずし、抵抗力を落とさないよう心がけることも大切である。

なお、その他の予防策として、わが国には従来からの注射ワクチン(不活性化)があるが、効果が低いことや副反応が多いことなどから、余り勧められていない。海外ではより効果が高く、副反応の少ない経口ワクチン(不活化および生ワクチン)の種類が発売されており、コレラの高度蔓延地域へ出かける援助関係者などに、必要に応じて接種されることがある。



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

中国での鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年3月29日 - 更新

中国保健省は、H5N1鳥インフルエンザウイルスに感染した新たな死亡例の患者1名を報告した。患者は国立研究所の検査で確定された。

安徽省の16歳男性が3月17日に発熱および肺炎様症状で発症し、3月20日に入院した。患者は3月27日に死亡した。

具合が悪くなる前に病鳥に接触したことを示唆する徴候はなく、患者の曝露源を同定する調査が行われている。濃厚接触者は医療監視下に置かれているが、全員が体調良好である。

中国で現在まで感染が確認された24名のうち、15名が死亡している。

エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年3月27日 - 更新11

エジプト保健人口省は新たな鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルス感染患者1名を発表した。患者はエジプト中央公衆衛生研究所および米国海軍医学研究所Unit No. 3(NAMRU-3)の検査で確定された。

Aswan行政地区の3歳女兒が3月22日に発症し、3月24日に病院に入院した。現在、病状は落ち着いている。

調査では家で飼育している家禽との接触歴が示唆されている。2007年3月19日および3月20日に発表されたAswan行政地区の最近の2症例と今回の事例との間に疫学的関連は見つからなかった。

エジプトでは、現在までに感染が確定された27名の患者のうち13名が死亡している。

WHO/EPR 2007年3月28日 - 更新12

エジプト保健人口省は、新たな鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルス感染患者2名を発表した。患者はエジプト中央公衆衛生研究所および米国海軍医学研究所Unit No. 3(NAMRU-3)の検査で確定された。

1例目は、Qena行政地区の6歳女兒で3月25日に発症し、病院に入院した。2例目は、Menia行政地区の5歳男児で3月25日に発症し、入院した。両名とも病状は落ち着いている。

初期調査では、どちらの症例も病鳥への曝露が示唆されている。

エジプトでは、現在までに感染が確定された29名の患者のうち13名が死亡している。

WHO/EPR 2007年4月2日 - 更新13

エジプト保健人口省は、新たな鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルス感染患者3名を発表した。患者はエジプト中央公衆衛生研究所および米国海軍医学研究所Unit No. 3(NAMRU-3)での検査により確定された。

1例目は、Qena行政地区の4歳男児で、3月28日に感染が報告された6歳少女の弟である。この患者は3月26日に発症し、3月29日に入院した。2例目は、Sohag行政地区の7歳男児で3月26日に発症し、3月29日に入院した。3例目は、Qalubiea行政地区の4歳女児で、3月29日に発症し、翌日入院した。

患児3名全員が治療を受け、病状は安定している。曝露源の調査では、全例が死んだ鳥との接触歴が示唆されている。子供達との接触者は、監視下にあり、異状の見られた者は発生していない。

エジプトでは、現在までに感染が確定された32名の患者のうち13名が死亡している。

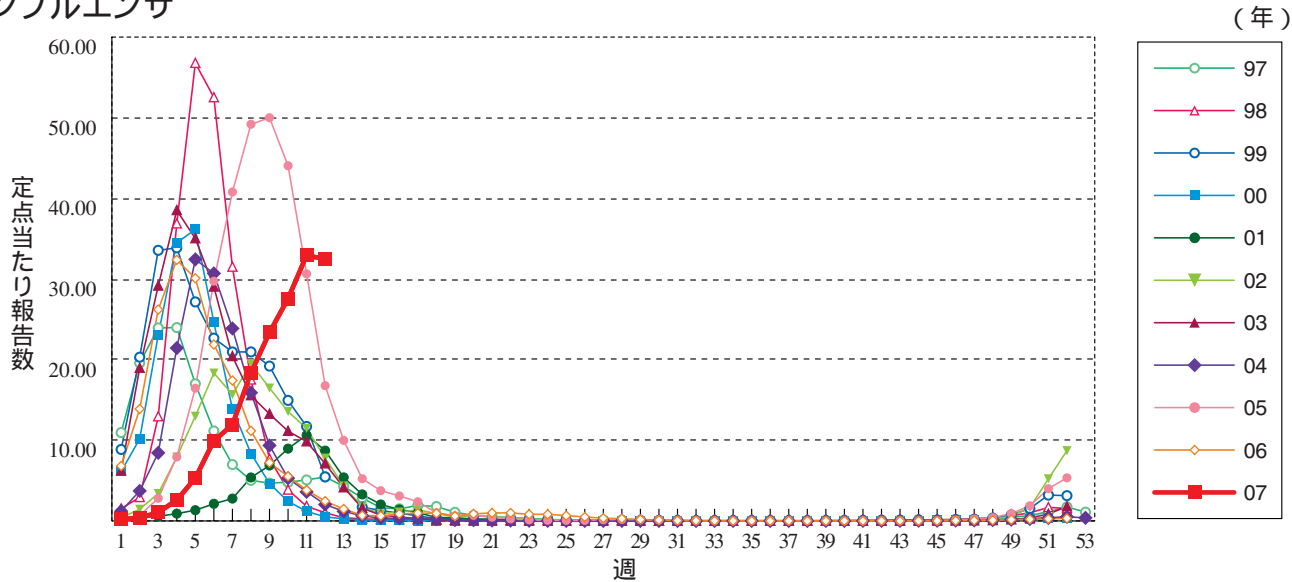


感染症の話

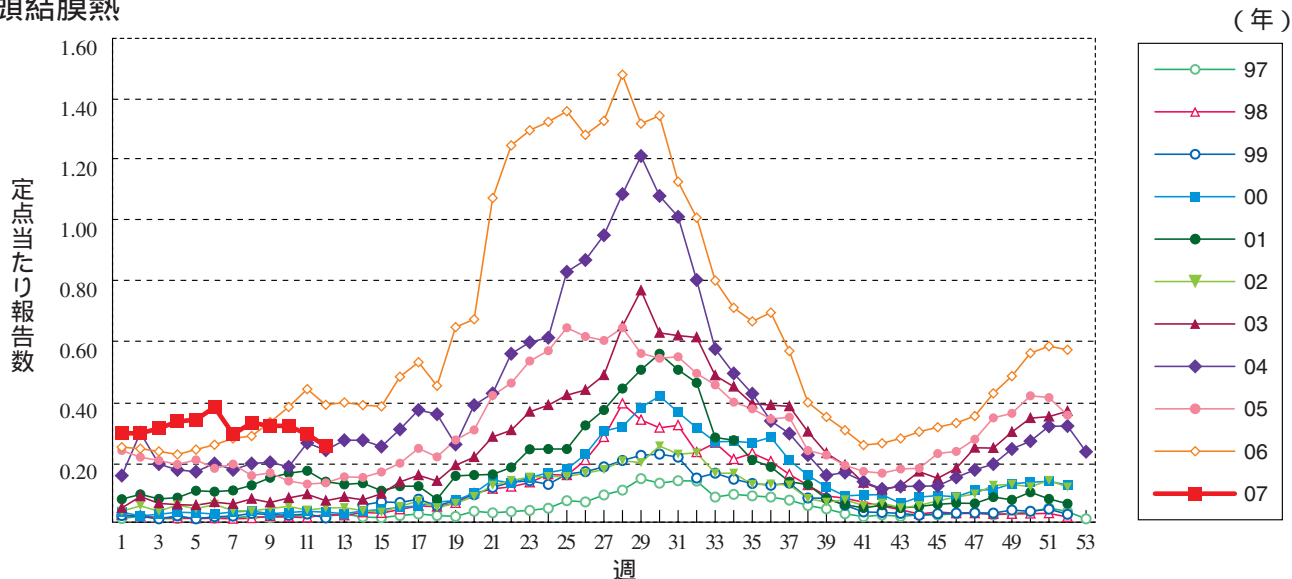
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(12週)

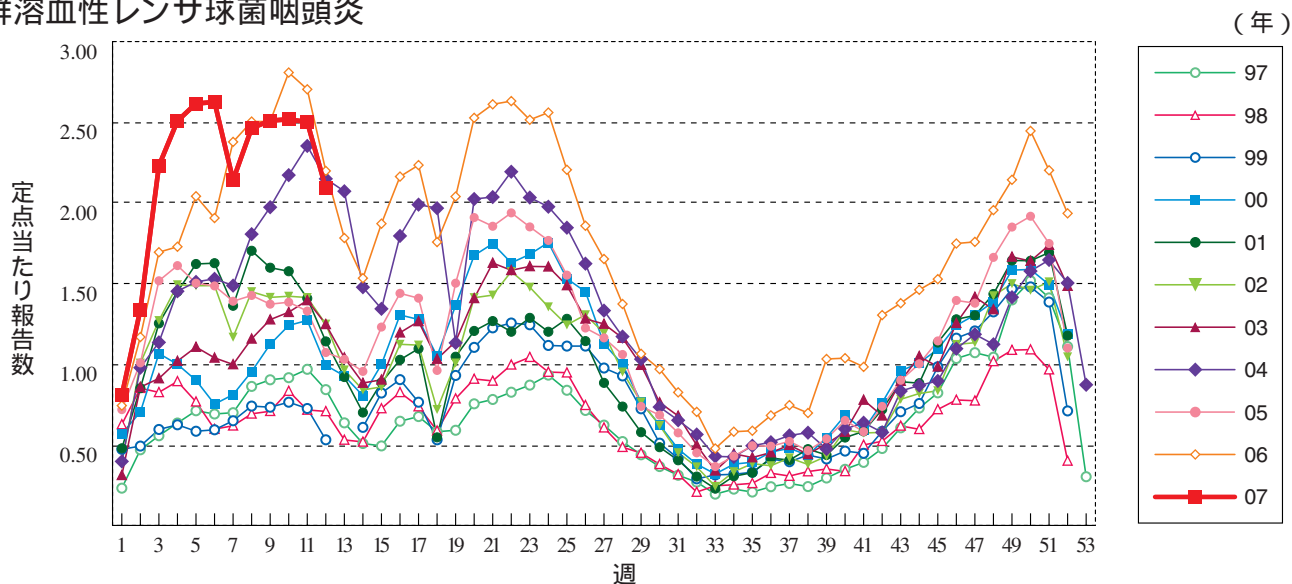
インフルエンザ



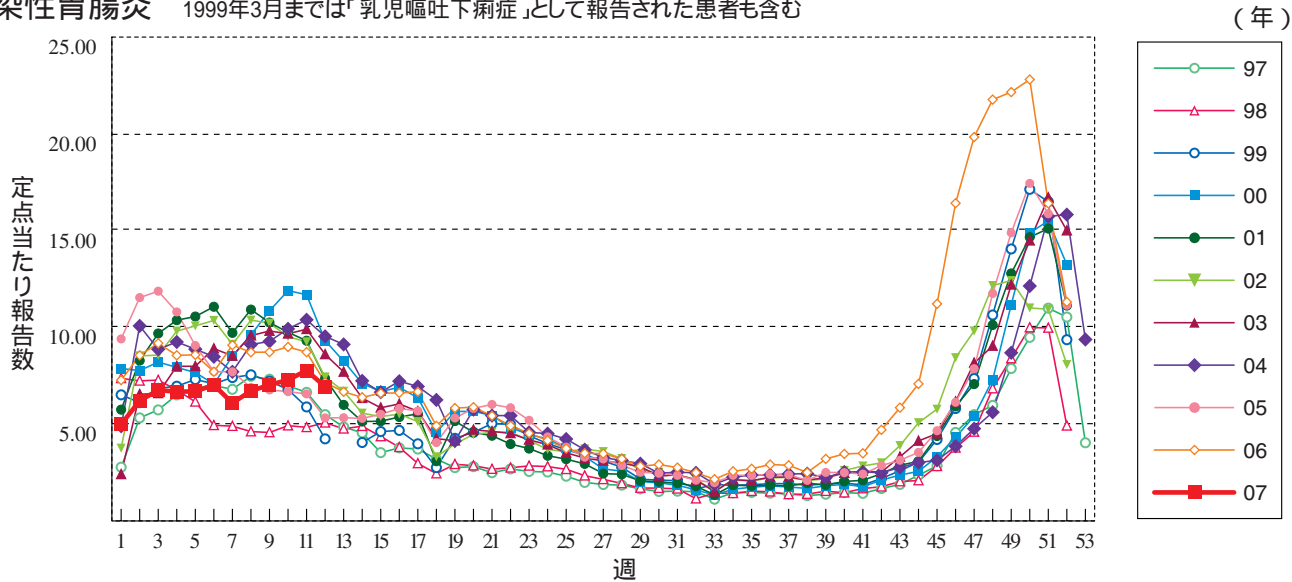
咽頭結膜熱



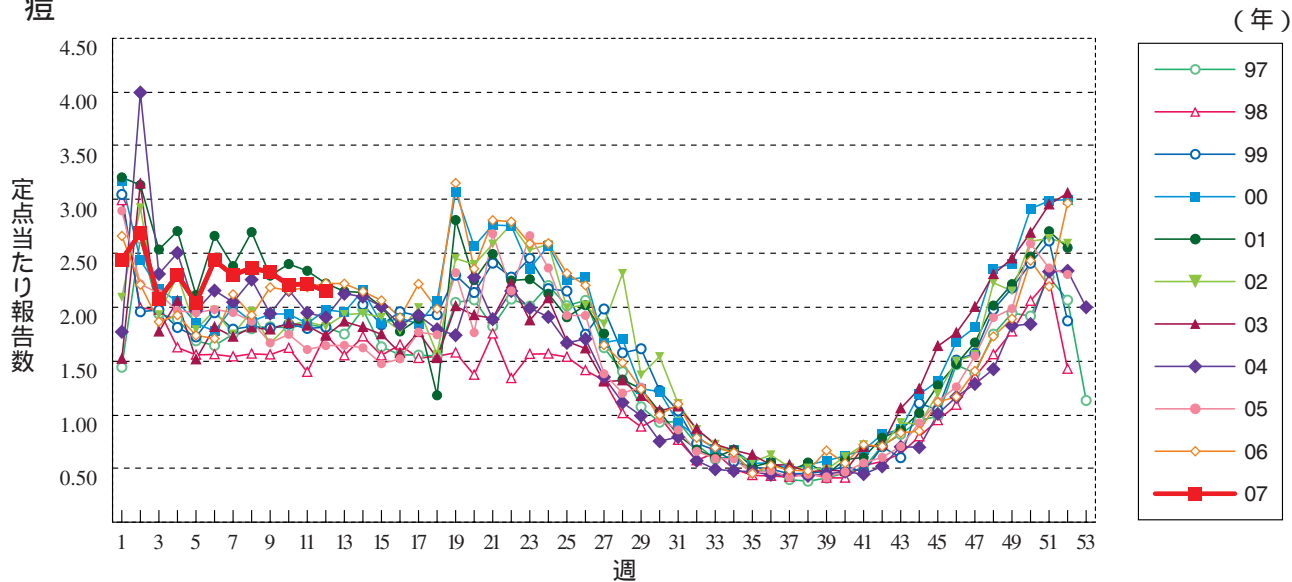
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



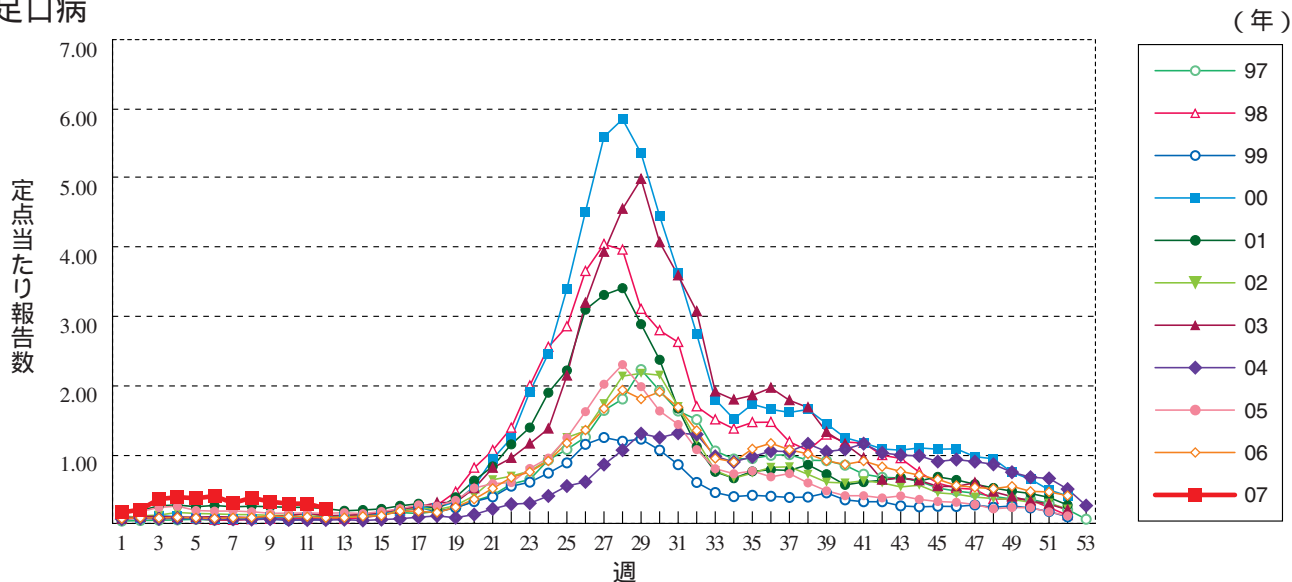
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



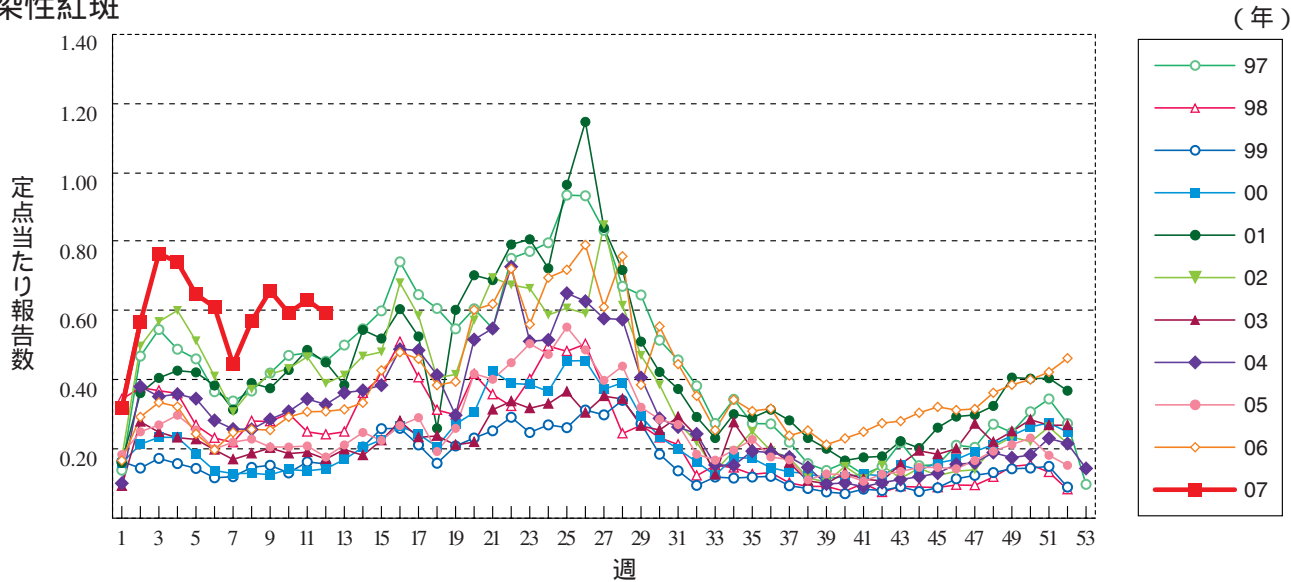
水痘



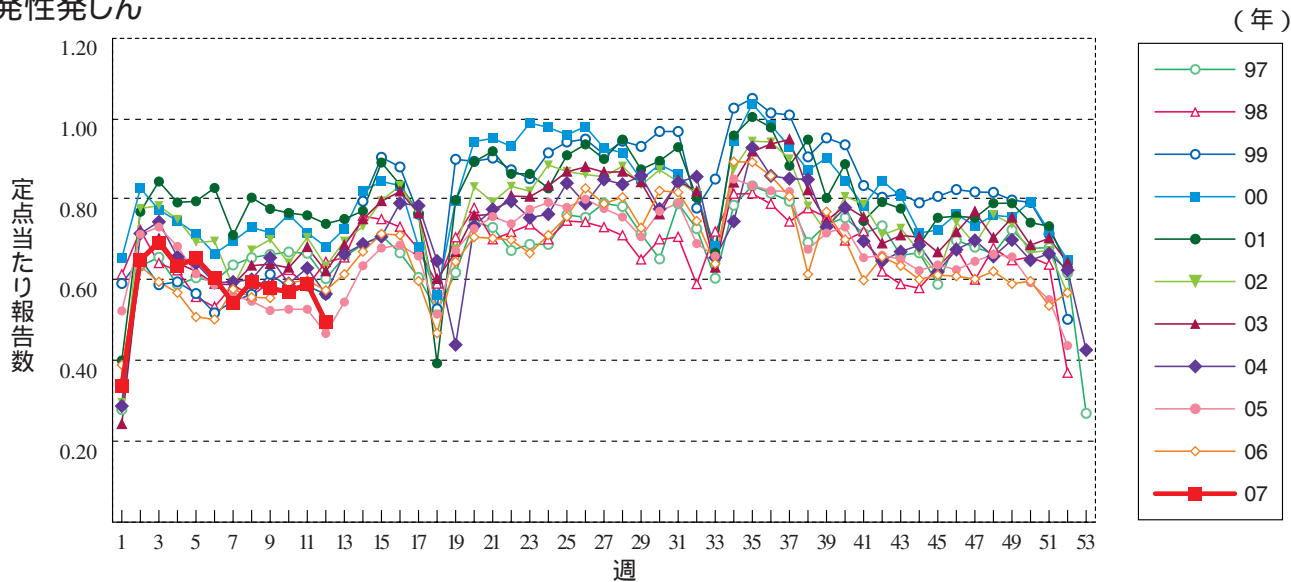
手足口病



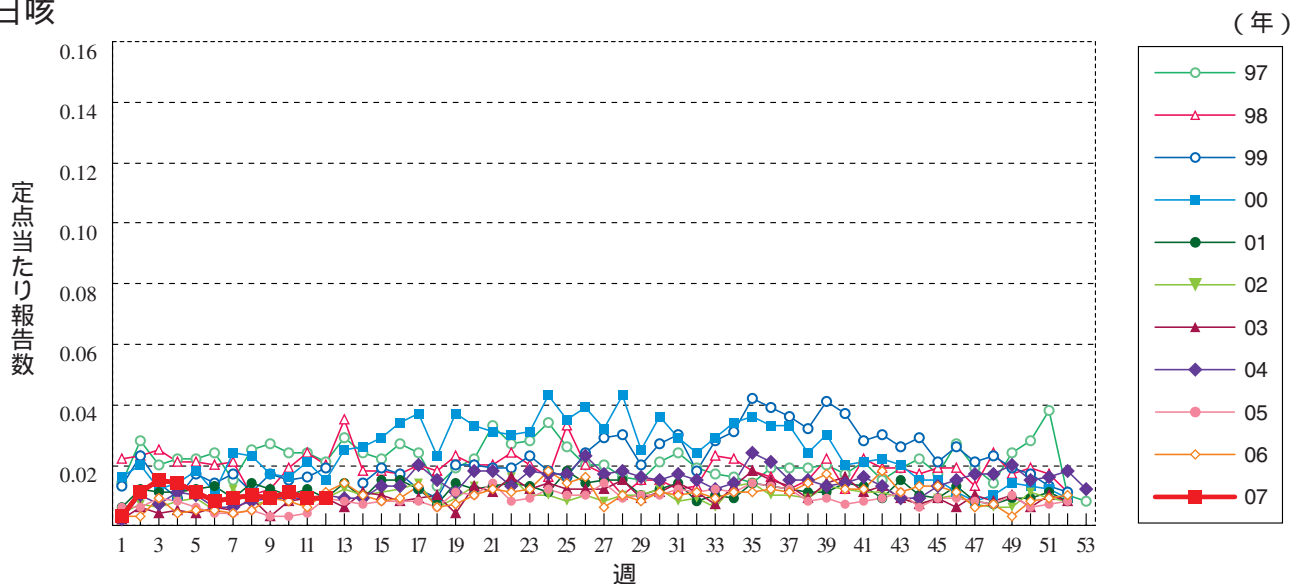
伝染性紅斑



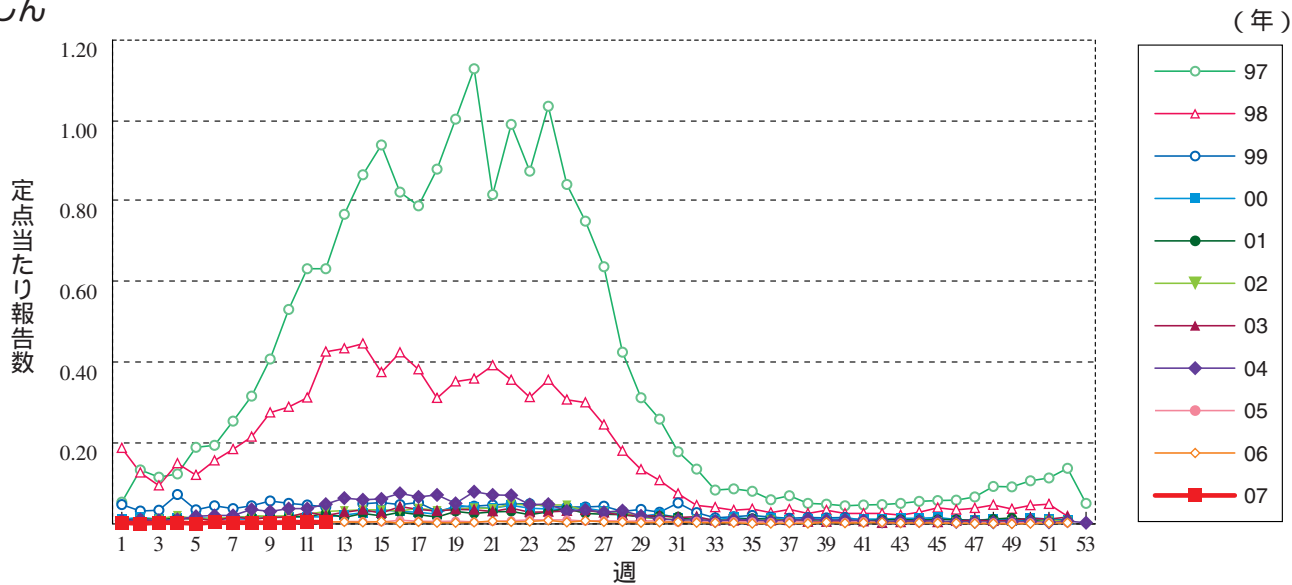
突発性発しん



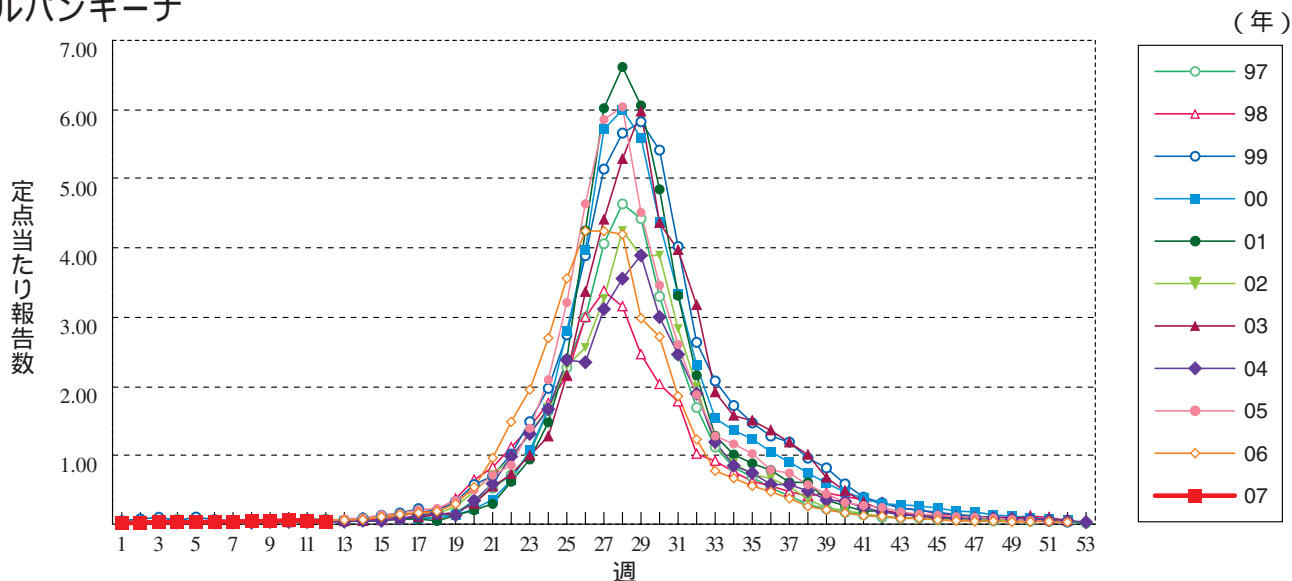
百日咳



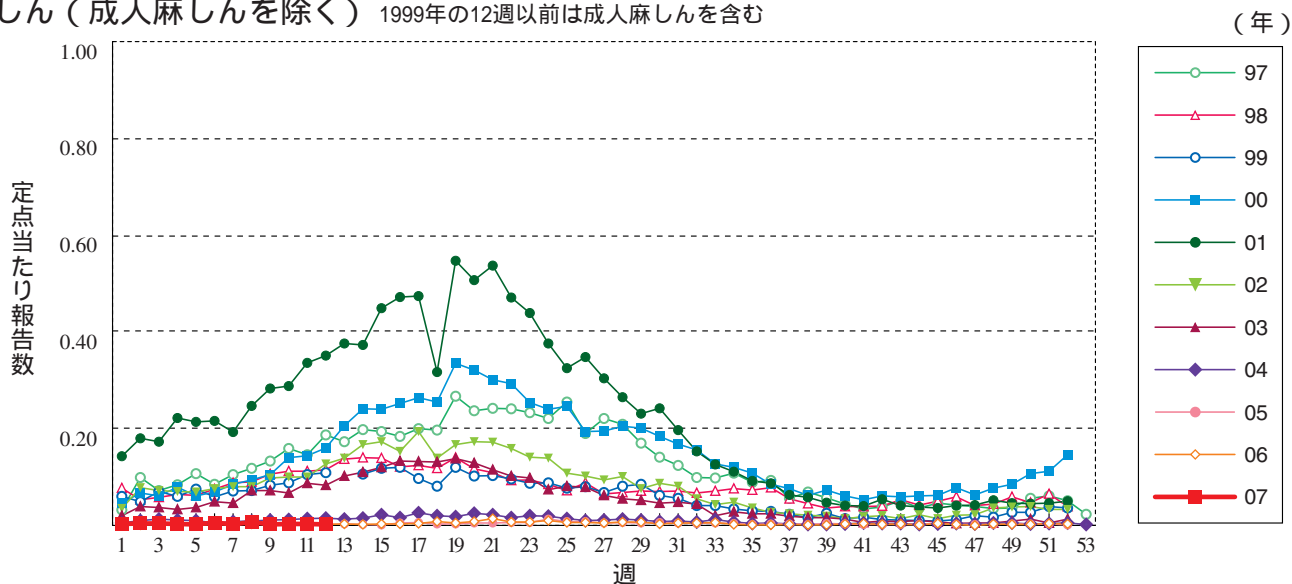
風しん



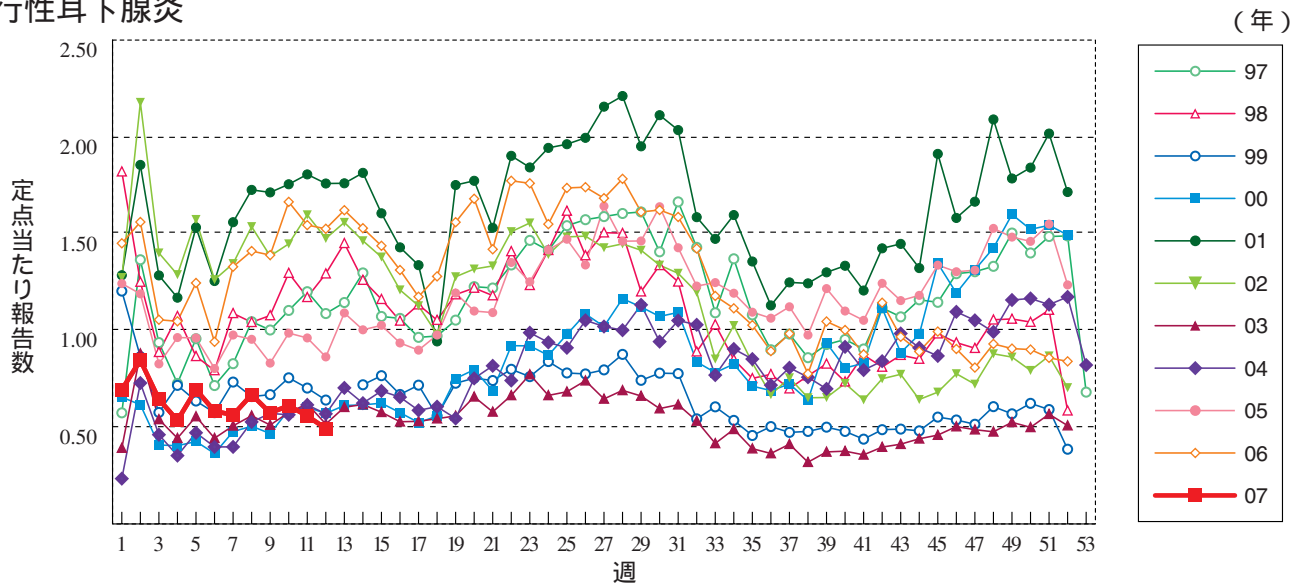
ヘルパンギーナ



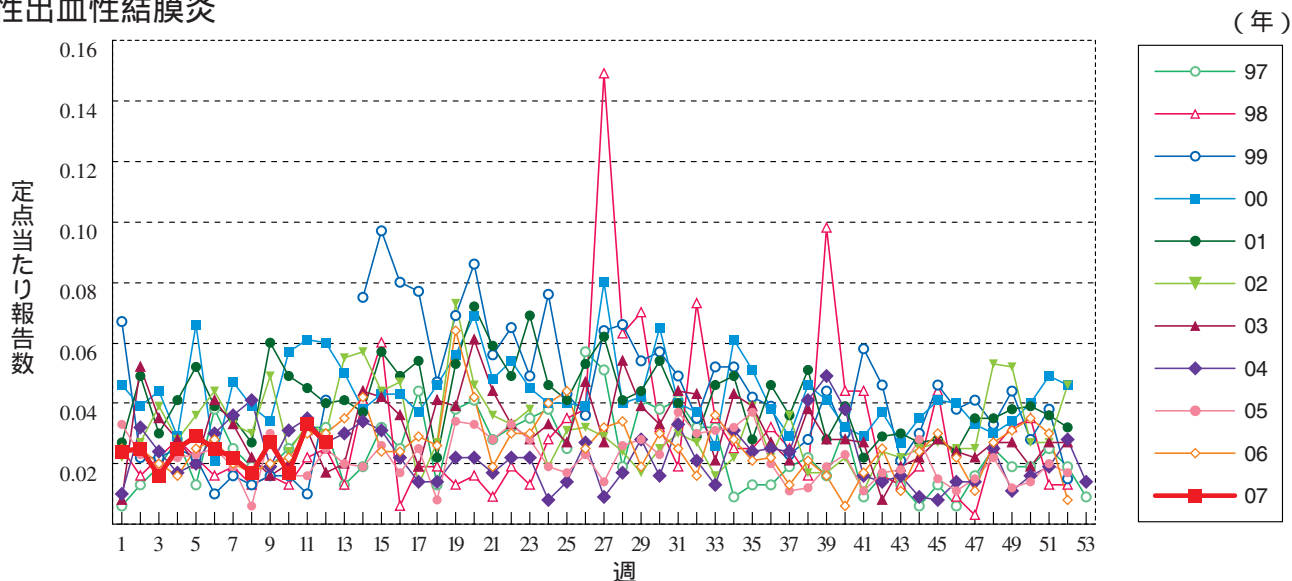
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



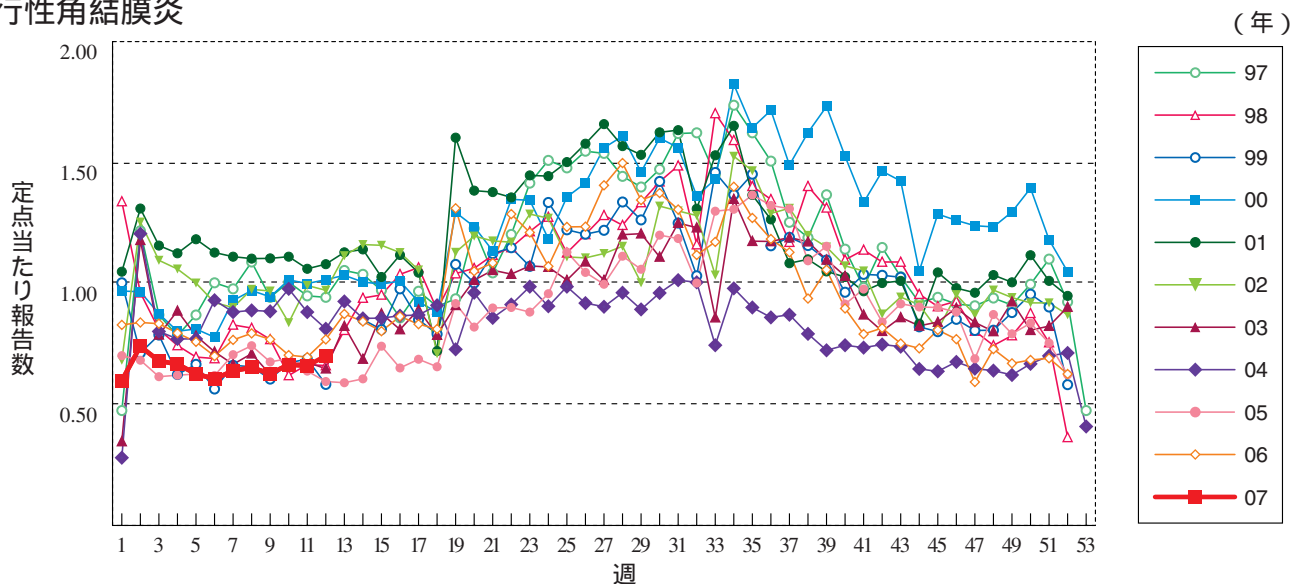
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

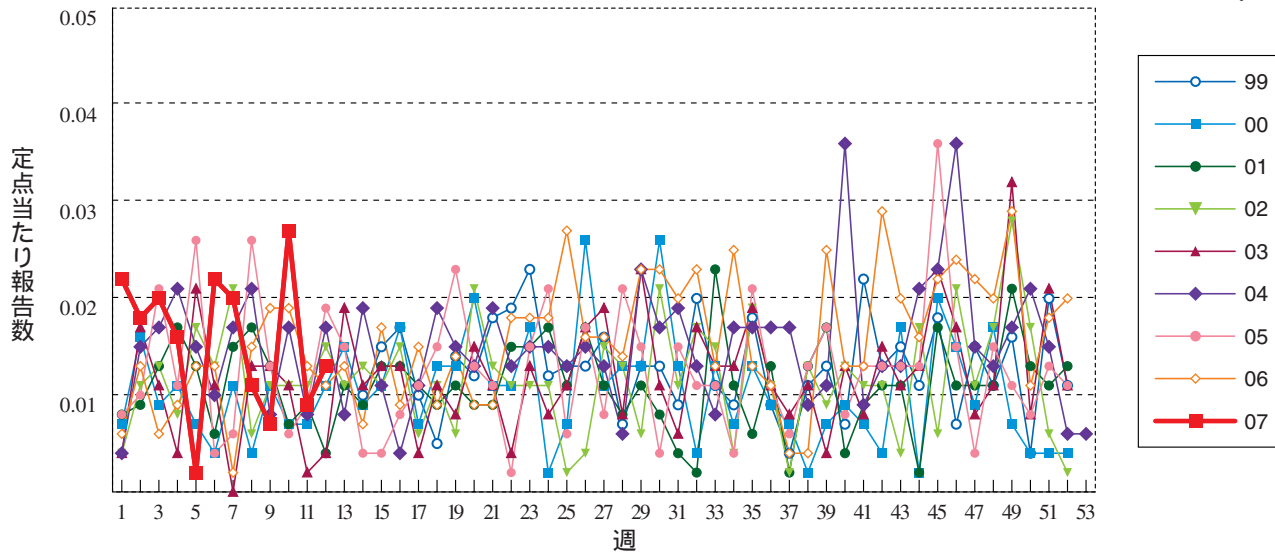


流行性角結膜炎



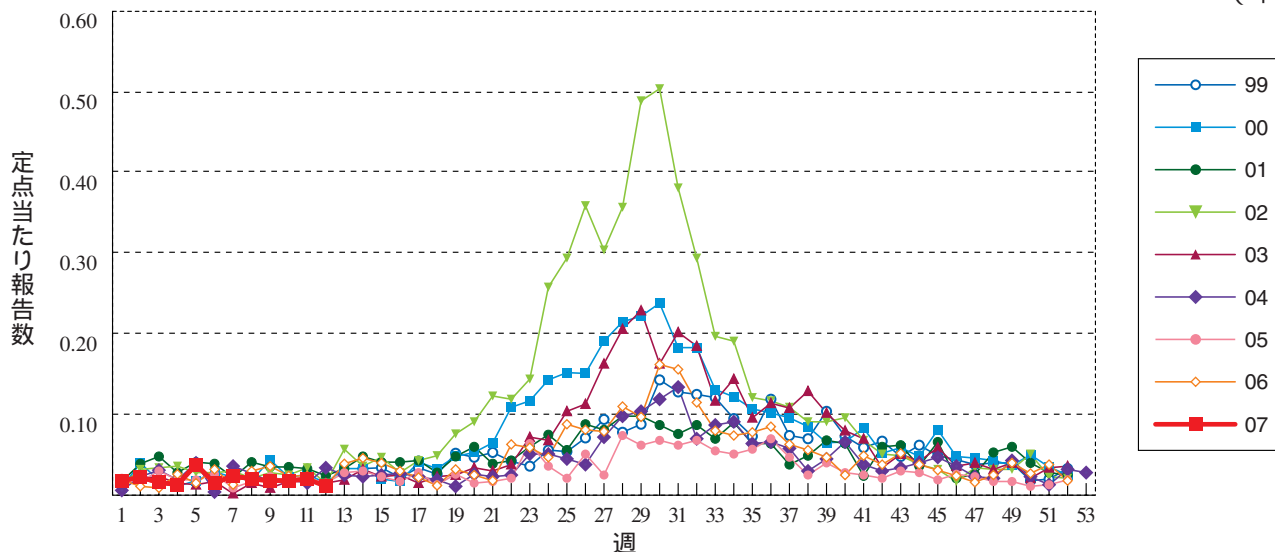
細菌性髄膜炎

(年)



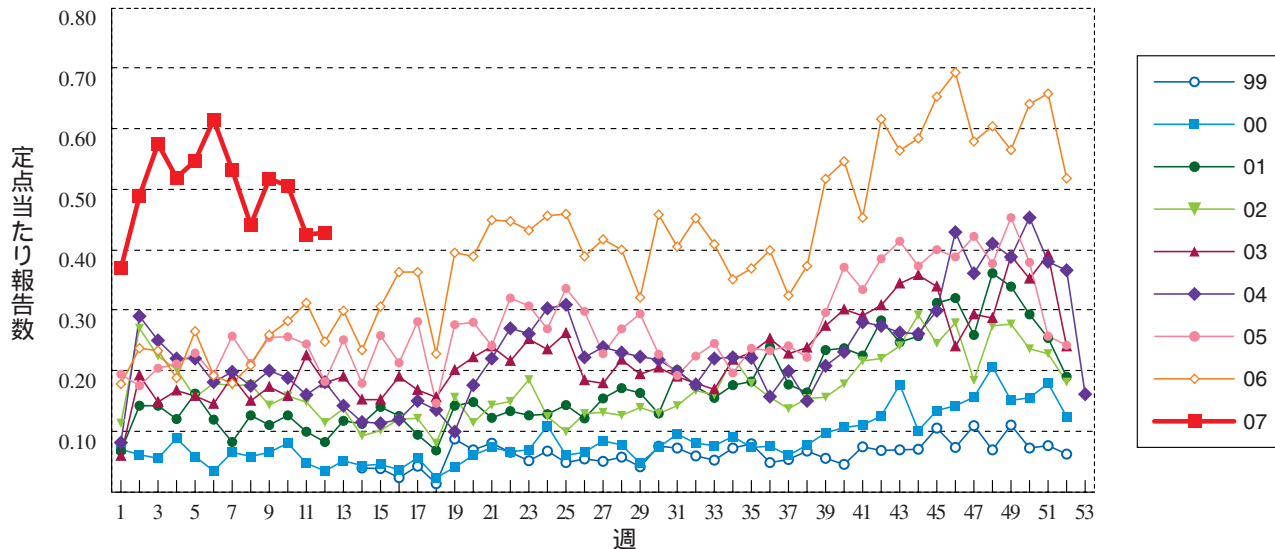
無菌性髄膜炎

(年)



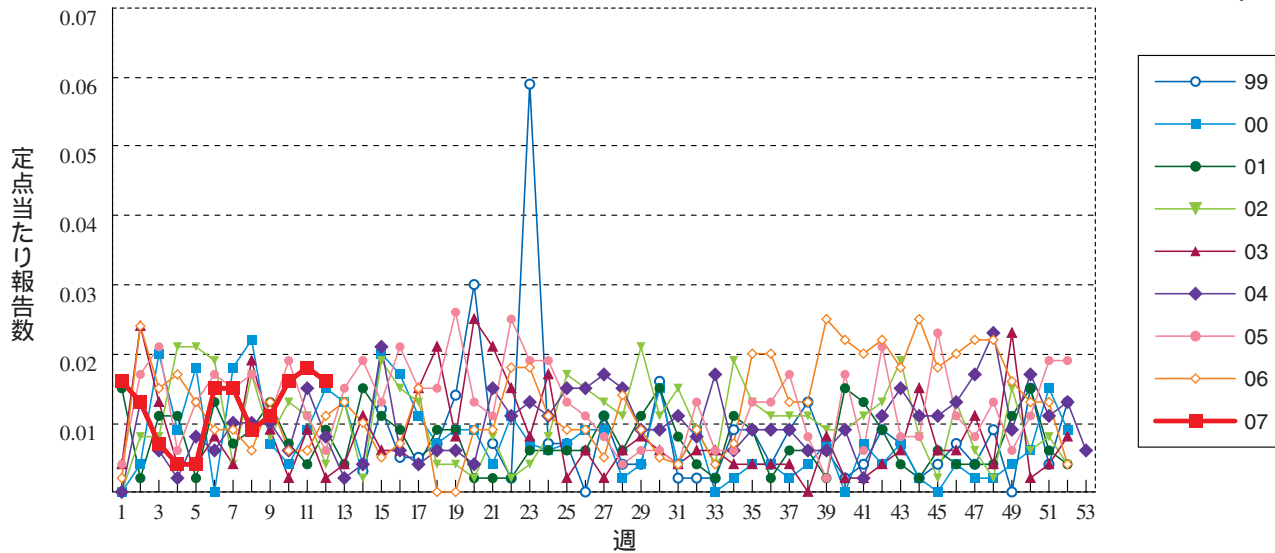
マイコプラズマ肺炎

(年)



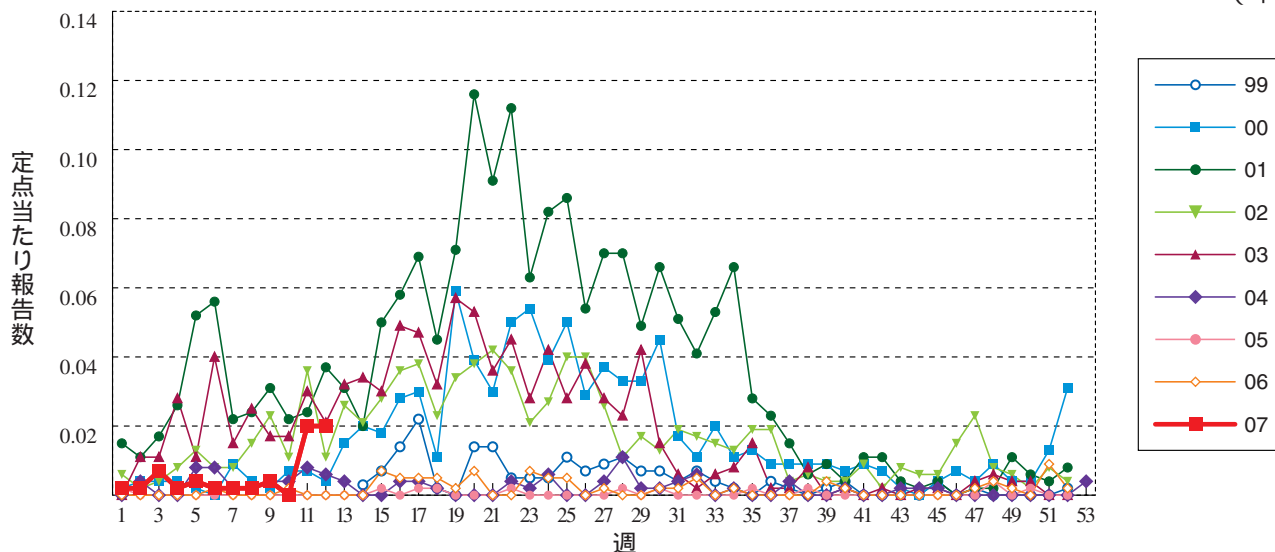
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



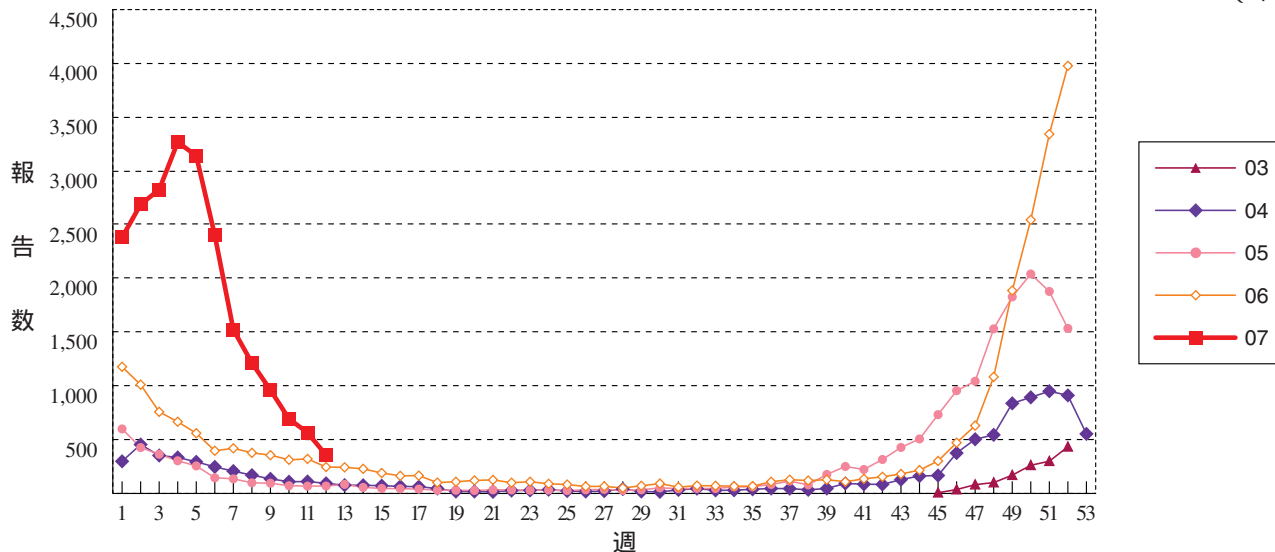
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





12週 of データ

注1) 表中の報告数は3月29日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

注2) また報告システム変更の影響により、ここの「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年12週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年12週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	9	112	-	-	1	8	-	4	4	150	2	14	-	-	-	38	-	4
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	22	-	-	-	-	-	1	1	8	-	-	-	-	-	1	-	-
東京都	-	14	-	-	-	1	-	1	-	4	-	1	-	-	-	7	-	1
神奈川県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	8	-	-	-	-	-	-	-	3	2	3	-	-	-	1	-	-
愛知県	1	9	-	-	-	-	-	-	2	5	-	1	-	-	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	1	3	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-
大阪府	1	30	-	-	1	2	-	1	-	14	-	-	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	3	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-
広島県	1	3	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年12週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	7	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年12週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	38	1	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年12週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	2	7	-	-	-	-	-	-	8	85	-	1	9	167
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	9
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5
東京都	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	34
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	24
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	14
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
大阪府	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	17
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
 **ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年12週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	31	-	45	-	1	-	38	1	30	11	268	-	9	1	3	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	3	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	1	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	7	-	-	-	2	-	1	1	11	-	-	-	-	-	-
東京都	-	9	-	-	-	-	-	1	-	2	-	80	-	3	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	3	2	26	-	2	-	-	-	-
新潟県	-	1	-	1	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	3	-	26	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	6	-	7	-	-	-	1	-	2	2	38	-	3	-	-	-	-
兵庫県	-	2	-	3	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	1	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	2	-	-	-	1	1	2	-	4	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年12週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	6	107	1	12	-	-	-	17	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	2	16	-	-	-	-	-	4	-	-
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	7	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	6	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年12週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	155045	32.46	758	0.25	6311	2.09	20935	6.94	6482	2.15	652	0.22	1789	0.59	1500	0.50	27	0.01
北海道	6874	30.15	41	0.29	614	4.29	290	2.03	259	1.81	8	0.06	231	1.62	56	0.39	-	-
青森県	3233	49.74	25	0.60	99	2.36	117	2.79	53	1.26	-	-	29	0.69	15	0.36	-	-
岩手県	1648	26.16	5	0.13	47	1.21	120	3.08	83	2.13	11	0.28	28	0.72	13	0.33	-	-
宮城県	2735	27.63	8	0.13	96	1.57	389	6.38	118	1.93	7	0.11	79	1.30	37	0.61	-	-
秋田県	1530	28.33	14	0.41	79	2.32	156	4.59	52	1.53	7	0.21	30	0.88	6	0.18	-	-
山形県	1171	24.40	26	0.87	77	2.57	159	5.30	44	1.47	2	0.07	10	0.33	22	0.73	-	-
福島県	2669	33.36	15	0.31	110	2.29	319	6.65	82	1.71	16	0.33	11	0.23	26	0.54	-	-
茨城県	3796	31.63	14	0.19	204	2.72	337	4.49	119	1.59	23	0.31	15	0.20	10	0.13	2	0.03
栃木県	1998	27.37	2	0.04	124	2.64	195	4.15	67	1.43	4	0.09	46	0.98	30	0.64	3	0.06
群馬県	3794	38.71	7	0.12	176	2.93	470	7.83	118	1.97	7	0.12	37	0.62	22	0.37	-	-
埼玉県	10000	38.76	40	0.25	429	2.65	1339	8.27	383	2.36	30	0.19	90	0.56	109	0.67	2	0.01
千葉県	6773	33.53	15	0.12	354	2.77	790	6.17	286	2.23	18	0.14	92	0.72	68	0.53	7	0.05
東京都	6161	22.08	28	0.20	261	1.84	761	5.36	174	1.23	7	0.05	54	0.38	47	0.33	-	-
神奈川県	8455	26.26	56	0.28	489	2.42	1228	6.08	436	2.16	20	0.10	82	0.41	126	0.62	-	-
新潟県	5042	52.52	17	0.28	173	2.84	235	3.85	141	2.31	2	0.03	44	0.72	42	0.69	1	0.02
富山県	1446	30.13	35	1.21	217	7.48	229	7.90	73	2.52	1	0.03	82	2.83	16	0.55	-	-
石川県	1673	34.85	14	0.48	93	3.21	244	8.41	55	1.90	6	0.21	55	1.90	7	0.24	-	-
福井県	1232	38.50	3	0.14	65	2.95	289	13.14	50	2.27	14	0.64	10	0.45	10	0.45	-	-
山梨県	1367	34.18	-	-	57	2.38	58	2.42	32	1.33	1	0.04	7	0.29	4	0.17	-	-
長野県	3458	39.30	17	0.31	55	1.00	323	5.87	105	1.91	9	0.16	78	1.42	24	0.44	3	0.05
岐阜県	1766	20.30	17	0.33	37	0.71	210	4.04	68	1.31	-	-	60	1.15	15	0.29	1	0.02
静岡県	2737	20.43	7	0.08	166	1.93	696	8.09	241	2.80	4	0.05	81	0.94	53	0.62	-	-
愛知県	4304	22.07	58	0.32	228	1.25	1403	7.71	360	1.98	15	0.08	79	0.43	103	0.57	1	0.01
三重県	2437	33.38	14	0.31	109	2.42	347	7.71	80	1.78	4	0.09	17	0.38	26	0.58	-	-
滋賀県	2002	37.77	2	0.06	22	0.69	163	5.09	63	1.97	4	0.13	20	0.63	8	0.25	-	-
京都府	2494	20.11	2	0.03	77	1.04	384	5.19	101	1.36	17	0.23	39	0.53	20	0.27	-	-
大阪府	6956	24.75	35	0.19	286	1.52	1558	8.29	378	2.01	11	0.06	92	0.49	87	0.46	4	0.02
兵庫県	5601	28.29	35	0.27	155	1.21	972	7.59	291	2.27	14	0.11	49	0.38	67	0.52	1	0.01
奈良県	1353	24.60	7	0.20	30	0.86	171	4.89	59	1.69	1	0.03	16	0.46	6	0.17	-	-
和歌山県	1587	31.74	5	0.16	30	0.97	269	8.68	89	2.87	2	0.06	10	0.32	16	0.52	-	-
鳥取県	1176	40.55	11	0.58	72	3.79	126	6.63	47	2.47	1	0.05	1	0.05	11	0.58	-	-
島根県	1120	29.47	16	0.70	37	1.61	212	9.22	42	1.83	1	0.04	1	0.04	12	0.52	-	-
岡山県	3092	38.17	11	0.20	36	0.67	417	7.72	85	1.57	11	0.20	11	0.20	22	0.41	-	-
広島県	4077	35.45	25	0.35	127	1.76	513	7.13	81	1.13	10	0.14	18	0.25	30	0.42	-	-
山口県	3656	52.23	23	0.47	139	2.84	493	10.06	132	2.69	6	0.12	34	0.69	28	0.57	-	-
徳島県	1071	26.78	1	0.05	16	0.76	194	9.24	28	1.33	-	-	11	0.52	7	0.33	-	-
香川県	1443	29.45	3	0.10	14	0.47	260	8.67	70	2.33	2	0.07	3	0.10	11	0.37	-	-
愛媛県	1390	22.79	6	0.16	121	3.27	507	13.70	149	4.03	5	0.14	32	0.86	27	0.73	-	-
高知県	836	17.42	3	0.10	76	2.53	217	7.23	63	2.10	1	0.03	8	0.27	18	0.60	-	-
福岡県	9489	47.92	29	0.24	199	1.66	1386	11.55	303	2.53	56	0.47	25	0.21	84	0.70	1	0.01
佐賀県	1893	48.54	5	0.22	32	1.39	177	7.70	86	3.74	35	1.52	6	0.26	16	0.70	-	-
長崎県	3761	53.73	12	0.27	42	0.95	312	7.09	82	1.86	52	1.18	10	0.23	16	0.36	-	-
熊本県	3721	46.51	5	0.10	114	2.38	522	10.88	96	2.00	62	1.29	9	0.19	34	0.71	-	-
大分県	3363	57.98	7	0.19	64	1.78	397	11.03	101	2.81	14	0.39	17	0.47	25	0.69	-	-
宮崎県	3057	51.81	9	0.25	80	2.22	585	16.25	196	5.44	74	2.06	12	0.33	39	1.08	-	-
鹿児島県	2664	28.65	21	0.38	153	2.73	333	5.95	243	4.34	51	0.91	14	0.25	16	0.29	-	-
沖縄県	2944	50.76	7	0.21	30	0.88	63	1.85	218	6.41	6	0.18	4	0.12	13	0.38	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年12週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	12	0.00	103	0.03	6	0.00	1489	0.49	17	0.03	444	0.70	6	0.01	5	0.01	193	0.43
北海道	1	0.01	-	-	-	-	53	0.37	-	-	16	0.55	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	79	1.88	-	-	6	0.55	-	-	-	-	7	1.17
岩手県	1	0.03	4	0.10	-	-	40	1.03	-	-	10	0.83	-	-	-	-	16	0.80
宮城県	-	-	-	-	-	-	54	0.89	1	0.08	5	0.42	-	-	1	0.08	14	1.17
秋田県	-	-	-	-	-	-	54	1.59	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	-	-	-	-	10	0.33	-	-	-	-	-	-	1	0.10	4	0.40
福島県	-	-	1	0.02	-	-	23	0.48	-	-	15	1.25	1	0.14	-	-	5	0.71
茨城県	-	-	-	-	1	0.01	7	0.09	-	-	22	1.38	-	-	-	-	5	0.45
栃木県	-	-	-	-	-	-	27	0.57	-	-	14	1.17	-	-	-	-	2	0.29
群馬県	-	-	-	-	-	-	30	0.50	-	-	25	1.79	-	-	-	-	14	1.75
埼玉県	-	-	7	0.04	-	-	48	0.30	-	-	19	0.48	-	-	-	-	10	1.11
千葉県	-	-	3	0.02	-	-	34	0.27	2	0.07	26	0.90	-	-	-	-	2	0.25
東京都	-	-	-	-	4	0.03	23	0.16	3	0.21	8	0.57	1	0.04	1	0.04	1	0.04
神奈川県	2	0.01	1	0.00	-	-	52	0.26	4	0.11	45	1.22	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	96	1.57	-	-	8	0.73	-	-	-	-	4	0.31
富山県	-	-	-	-	-	-	16	0.55	-	-	8	1.14	-	-	-	-	5	1.00
石川県	-	-	-	-	-	-	4	0.14	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	-	-	-	-	2	0.09	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-
山梨県	1	0.04	-	-	-	-	4	0.17	-	-	5	0.56	-	-	-	-	2	0.20
長野県	-	-	1	0.02	-	-	25	0.45	-	-	5	0.45	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	3	0.06	-	-	9	0.17	-	-	6	0.60	-	-	-	-	1	0.20
静岡県	-	-	2	0.02	-	-	44	0.51	-	-	7	0.35	-	-	-	-	7	0.78
愛知県	-	-	4	0.02	-	-	62	0.34	-	-	4	0.12	1	0.09	-	-	4	0.36
三重県	-	-	1	0.02	-	-	48	1.07	-	-	2	0.17	-	-	-	-	4	0.44
滋賀県	-	-	-	-	-	-	14	0.44	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
京都府	2	0.03	-	-	-	-	21	0.28	1	0.06	9	0.50	1	0.14	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	5	0.03	-	-	86	0.46	-	-	11	0.25	-	-	-	-	16	1.33
兵庫県	2	0.02	-	-	1	0.01	114	0.89	1	0.03	21	0.60	-	-	-	-	1	0.09
奈良県	-	-	-	-	-	-	4	0.11	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	-	-	-	-	24	0.77	1	0.25	-	-	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-	7	0.37	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	2	0.09	-	-	15	0.65	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	7	0.13	-	-	29	0.54	-	-	16	1.33	-	-	-	-	2	0.40
広島県	-	-	8	0.11	-	-	18	0.25	1	0.05	19	1.00	-	-	-	-	4	0.19
山口県	-	-	16	0.33	-	-	12	0.24	-	-	7	0.78	-	-	-	-	3	0.33
徳島県	-	-	-	-	-	-	10	0.48	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	3	0.10	-	-	9	0.30	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	3	0.08	-	-	17	0.46	-	-	22	2.75	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	1	0.03	-	-	42	1.40	1	0.33	2	0.67	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	17	0.14	-	-	70	0.58	-	-	17	0.65	-	-	-	-	2	0.14
佐賀県	-	-	-	-	-	-	8	0.35	-	-	2	0.50	-	-	-	-	2	0.33
長崎県	-	-	10	0.23	-	-	5	0.11	1	0.13	10	1.25	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	2	0.04	-	-	13	0.27	-	-	10	1.11	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	32	0.89	-	-	4	0.80	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	45	1.25	-	-	8	1.33	-	-	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	-	-	1	0.02	-	-	37	0.66	-	-	7	1.00	-	-	-	-	3	0.25
沖縄県	-	-	-	-	-	-	13	0.38	-	-	15	1.50	1	0.14	-	-	41	5.86

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2007年12週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	7	0.02	9	0.02	357
北海道	-	-	-	-	48
青森県	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	21
宮城県	-	-	2	0.17	5
秋田県	-	-	-	-	7
山形県	1	0.10	-	-	3
福島県	-	-	-	-	22
茨城県	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	2	0.22	6
千葉県	1	0.13	-	-	2
東京都	-	-	3	0.13	2
神奈川県	-	-	1	0.14	6
新潟県	3	0.23	-	-	3
富山県	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	14
愛知県	-	-	-	-	14
三重県	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	5
大阪府	-	-	1	0.08	29
兵庫県	-	-	-	-	23
奈良県	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	8
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	8
広島県	1	0.05	-	-	16
山口県	-	-	-	-	7
徳島県	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	7
高知県	-	-	-	-	6
福岡県	1	0.07	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	7
大分県	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	6
沖縄県	-	-	-	-	10

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年12週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年12週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	5
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	1
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	1
大分県	-	-
宮崎県	-	3
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第9巻 第12号 2007年4月6日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。